

Canon

キヤノン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター(全国共通番号)

050-555-90002

受付時間: 平日 9:00~20:00

土・日・祝日 10:00~17:00

(1月1日~1月3日は休ませていただきます)

- ※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556をご利用ください。
- ※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
- ※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンサービスセンター

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社 <http://canon.jp/bebit/>

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
デジタルカメラ製品情報 <http://canon.jp/dc/>

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
サポート <http://canon.jp/support/>

CANON iMAGE GATEWAY <http://www.imagegateway.net/>

Canon



キヤノンデジタルカメラ

PowerShot S3 IS

応用編

ご使用の前に

よく使う撮影機能

モードダイヤルを使う

いろいろな撮影機能

再生 / 消去する

印刷指定 / 送信指定する

テレビを使って撮影 / 再生する

カメラを自分好みにする

こんなときには / メッセージ一覧

付録



カメラユーザーガイド

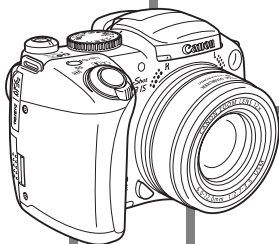
本書ではカメラの機能や使いかたを詳細に説明しています。



主な特長

撮影

- シーンに合わせて撮影条件を自動設定
- 手ぶれ補正機能でぶれを抑えて撮影
- 高感度ISO設定で、手ぶれや被写体ぶれを抑えて撮影
- どのモードでも、動画ボタンを押して動画撮影
- ステレオ音声つきで動画撮影
- SIセンサーでカメラの縦横位置を自動的に判別
- 別売のワイドコンバーター、テレコンバーター、クローズアップレンズを装着して撮影



再生

- ステレオ音声つき動画再生
- スライドショーで自動再生

編集

- 静止画に、タッチマイカラーで効果をつける
- 静止画に音声メモを記録
- 動画を編集
- 音声だけを記録（サウンドレコーダー）

印刷







- イージーダイレクトボタンで簡単に印刷
- キヤノン製以外のプリンター（PictBridge対応）でも印刷

撮影した画像の活用

- イージーダイレクトボタンで簡単にパソコンへ転送
- オンラインフォトサービス「CANON iMAGE GATEWAY」で、オリジナルアルバムの作成、公開

このガイドの表記について



見出しの下にあるマークは、この操作が行える撮影モードを表しています。下の例では、撮影モードが次のときに操作できます。

- **AUTO** (オート)
-  (ポートレート)
-  (風景)
-  (夜景)
-  (スポーツ)
- **SCN** (スペシャルシーン)
-  (スティッチアシスト)
-  (動画)
- **P** (プログラムAE)
- **Tv** (シャッター優先AE)
- **Av** (絞り優先AE)
- **M** (マニュアル)

動画を撮る

撮影モード **AUTO**     **SCN**   **P Tv Av M**

- 各撮影モードで設定できる機能は、巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧」(p. 151) をご覧ください。

-  ● カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。
-  ● カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

このカメラでは、SD*メモリーカードとマルチメディアカードをお使いになれます。このガイドでは、これらをメモリーカードと表記します。

* SD = Secure Digital (著作権保護システム) の略

アクセサリはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されており、キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリの不具合(例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など)に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

目次

☆のページでは、このカメラの機能や操作をまとめて記載しています。

このガイドの表記について	1
取り扱い上のご注意	5
必ずお読みください	5
安全上のご注意	6
故障を防ぐためのご注意	11
ご使用前に—各部の名称	12
ご使用前に—基本操作	16
液晶モニターとビューファインダーの使いかた	16
情報の表示内容を設定する	17
液晶モニターに表示される情報	20
節電機能について	23
世界時計を設定する	24
☆メニューの表示と設定のしかた	26
☆メニュー一覧	28
設定を初期状態に戻す	34
メモリーカードを初期化する	35
よく使う撮影機能	36
記録画素数と圧縮率を変更する(静止画)	36
スローシンクロを設定する	37
手ぶれ補正を設定する	38
さらに接近して撮る(スーパーマクロ)	39
デジタルズームで撮る	40
📷 連続して撮る	41
🕒 セルフタイマーで撮る	42
モードダイヤルを使う	45
🎬 動画を撮る	45
📷 パノラマ画像を撮る(スティッチアシスト)	50
SCN 色を変えて撮る	51
クリエイティブゾーンで撮る	55
P プログラム AE で撮る	
Tv シャッタースピードを決めて撮る	
Av 絞りを決めて撮る	
M 自由にシャッタースピード / 絞りを決めて撮る	

いろいろな撮影機能..... 59

Ⓜ ショートカットボタンを登録する.....	59
Ⓜ AF 枠を移動する.....	60
ピントが合いにくい被写体を撮る (フォーカスロック、AF ロック、マニュアルフォーカス).....	61
フォーカス設定を切り換えて撮る.....	63
フォーカスを自動的に変えて撮る(フォーカスブラケット撮影).....	64
ISO ISO 感度を変更する.....	65
露出を固定して撮る(AE ロック).....	66
FE ロックで撮る.....	67
測光方式を切り換える.....	67
露出を補正する.....	69
露出を自動的に変えて撮る(AEB 撮影).....	69
色合いを調整する(ホワイトバランス).....	70
マイカラーで撮る.....	72
⚡ ストロボの自動調光設定を切り換える.....	75
ストロボ調光量/発光量を補正する.....	75
ストロボ発光のタイミングを切り換える.....	76
間隔をあけて自動的に撮影する(インターバル撮影).....	76
Ⓒ カスタム登録する.....	78
縦横自動回転の設定をする.....	79
画像の保存先(フォルダ)を作成する.....	80
画像番号をリセットする.....	81

再生/消去する..... 83

🔍 拡大して見る.....	83
📑 9 画面ずつまとめて見る(インデックス再生).....	83
📍 目的の画像にジャンプする.....	84
動画を見る.....	85
動画を編集する.....	86
回転して表示する.....	87
効果をつけて再生する.....	88
👆 レタッチマイカラーで効果をつける.....	88
🔊 音声メモをつける.....	90
音声だけを記録する(サウンドレコーダー).....	91
画像を自動再生する(スライドショー).....	93
画像をプロテクト(保護)する.....	96
全画像を消去する.....	97

印刷指定/送信指定する	98
DPOF の印刷指定	98
DPOF の送信指定	101
テレビを使って撮影/再生する	103
カメラを自分好みにする(マイカメラ機能)	104
こんなときには	107
カメラ全般	107
電源を入れたとき	108
液晶モニター/ビューファインダー	108
撮影のとき	109
動画撮影のとき	113
再生のとき	114
電池	115
テレビ出力	115
カメラダイレクト対応プリンターで印刷するとき	116
メッセージ一覧	117
付録	121
電池の取り扱い	121
メモリーカードの取り扱い	122
コイン型リチウム電池を交換する	124
電源キット(別売)の使いかた	125
レンズ(別売)の使いかた	129
補助ストロボ(別売)の使いかた	132
海外で使うとき	134
カメラのお手入れ	135
主な仕様	136
CANON IMAGE GATEWAY を利用する	145
索引	146
☆各撮影モードで設定できる機能一覧	151

取り扱い上のご注意

必ずお読みください

試し撮り

必ず事前に試し撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。

万一、このカメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

ご注意

本体温度について

このカメラは、電源を入れたあと長時間お使いになっていると、本体温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。

液晶モニターとビューファインダーについて

液晶モニターとビューファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

安全上のご注意

- ご使用前に本書、および基本編「安全上のご注意」をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、
あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので
す。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本機器：カメラ、電池、バッテリーチャージャー（別売）、コンパ
クトパワーアダプター（別売）、ハイパワーフラッシュ（別売）



警告

この警告事項に反した取り扱いをすると、人
が死亡または重傷を負う可能性があること
を示します。



注意

この注意事項に反した取り扱いをすると、人
が傷害または物的損害を負う可能性がある
ことを示します。



△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性
があることを示します。記号の中の図は注意事項を意
味します。



⊘記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は
禁止事項を意味します。(左図：分解禁止)



●記号は、必ず守っていただきたいことがらを示しま
す。記号の中の図は指示内容を意味します。

警告

本機器

●お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。

- ・ネックストラップ：誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。
- ・メモリーカード：誤って飲み込むと危険です。
万一、飲み込んだ場合には、ただちに医師にご相談ください。



●分解、改造しないでください。

●落下などで、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。

●煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。

●内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。水滴がかかったり、潮風にさらされたときは、吸水性のある柔らかい布で拭いてください。

火災、感電の原因となります。

機器本体の電源を切り、その後必ず、電池を外すか、バッテリーチャージャーあるいはコンパクトパワーアダプターの電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜き、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



●アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤で手入れしないでください。

●電源コードに重いものを載せたり、傷つけたり、破損したり、加工しないでください。

●本機器専用以外の電源は使用しないでください。

●電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

火災、感電の原因となります。



電池

- 火に近付けたり、火の中に投げ込まないでください。
- 水や海水に濡らさないでください。
- 分解、改造したり、加熱しないでください。
- 落とすなどして強い衝撃を与えないでください。
- 指定外の電池を使用しないでください。



電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。万一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

- バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラと電源コンセントの両方から外してください。
- テーブルクロス、じゅうたん、布団、クッションなどをかけたまま充電しないでください。



長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

- キヤノン製の単3形ニッケル水素電池を充電する場合は、指定されたバッテリーチャージャー以外は使用しないでください。
 - コンパクトパワーアダプターの出力端子は本カメラ専用です。他の製品には、お使いにならないでください。
- 発熱、変形して、火災、感電の原因となります。



- 廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。
- 廃却の際、他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となります。



その他

- ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。
- 特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。視力障害の原因となります。



- カメラのスピーカーに磁気の影響を受けやすいもの（クレジットカードなど）を近付けないでください。



それらのデータが壊れて、使用できなくなることがあります。






- 別売のワイドコンバーター、テレコンバーター、クローズアップレンズ、コンバージョンレンズアダプターを取り付けるときは、確実にねじ込んでください。





緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。

▲ 注意

本機器

- **ネックストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えないでください。** 
けがや本体の故障の原因となることがあります。
- **湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。** 
- **電源プラグや充電端子部に金属製のピンやゴミを付着させないでください。** 
火災、感電、故障の原因となることがあります。
- **直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。** 
- **コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしないでください。また、電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが不十分なまま使用しないでください。**
- **風通しの悪いところで使用しないでください。**
液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。また、機器外装が熱により変形することがあります。
- **使用しないときは、電池を取り出し、保存してください。** 
カメラに、電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。

ストロボ

- **発光部分にゴミやほこりなど異物がついたまま発光しないでください。** 
- **発光部分を手や布などで覆ったまま発光しないでください。**
煙や音が出て、故障の原因となったり、発熱によりストロボ発光部分の損傷の原因となることがあります。
- **連続発光後、発光部分に触れないでください。** 
やけどの原因となることがあります。

故障を防ぐためのご注意

電磁波による誤作動、破壊を防ぐために

- カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。

電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

結露を防ぐために

- カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露（水滴）が発生することがあります。

結露が発生したときは

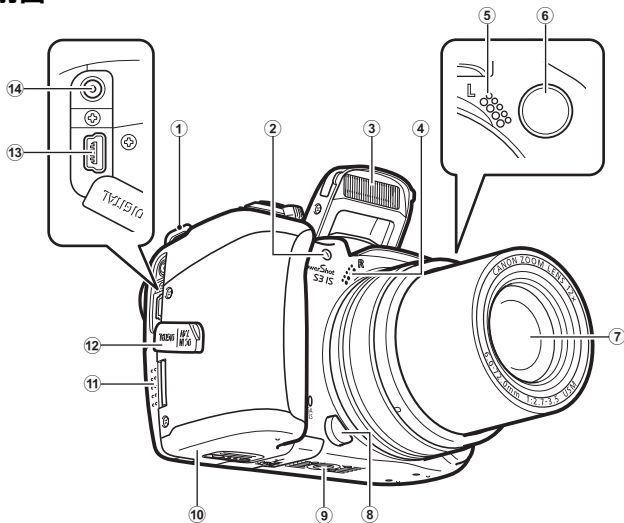
- カメラを使用しないでください。

故障の原因となります。

カメラを使う場合は、メモリーカード、電池、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまでお待ちください。

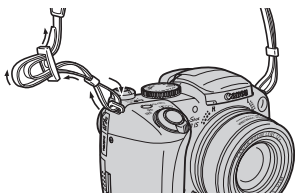
ご使用前の—各部の名称

前面



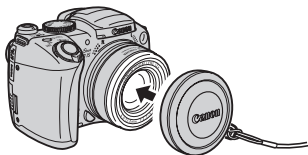
- ① ネックストラップ取り付け部
- ② セルフタイマーランプ/録画ランプ/赤目緩和ランプ (p. 42、p. 45、p. 28)
- ③ ストロボ (基本編 p. 11)
- ④ マイク (R) (p. 90、p. 91)
- ⑤ マイク (L) (p. 90、p. 91)
- ⑥ AF補助光 (p. 28)
- ⑦ レンズ
- ⑧ リング取り外しボタン (p. 130)
- ⑨ 三脚ねじ穴 (p. 132)
- ⑩ バッテリーカバー (基本編 p. 1)
- ⑪ メモリーカードスロットカバー (基本編 p. 1)
- ⑫ 端子カバー
- ⑬ DIGITAL (デジタル) 端子 (基本編 p. 21)
- ⑭ DC IN (電源入力) 端子 (p. 128)

ネックストラップを取り付ける
 図のようにストラップを取り付けます。ストラップを引っ張っても止め具の部分でゆるまないことを確認してください。もう一方のストラップ取り付け部にも、同じようにストラップを取り付けます。



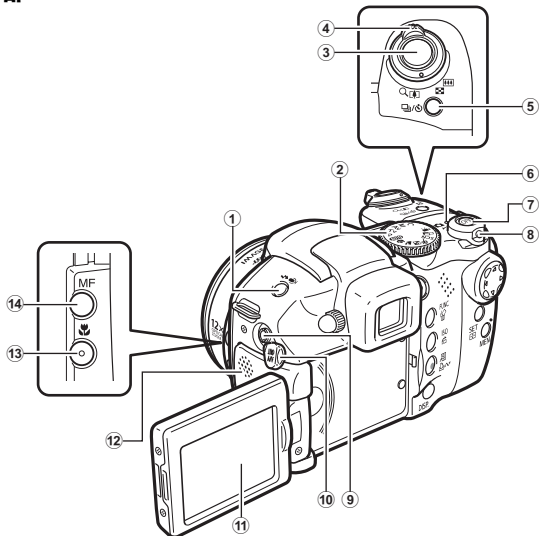
- カメラをネックストラップで下げているときは、振り回すような持ち方を避け、他のものに引っ掛からないように注意してください。

レンズキャップを取り付ける
 レンズキャップをレンズにかぶせるようにして取り付けます。カメラの使用後は、レンズキャップを取り付けて保管してください。



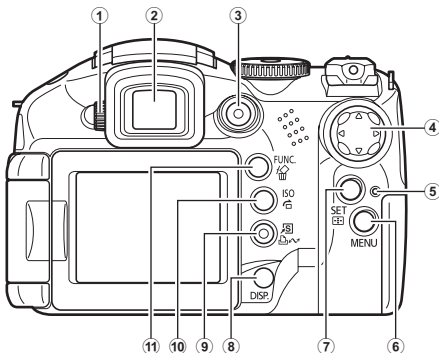
- レンズキャップのひもは、ストラップに取り付けます。
- カメラの電源を入れる前に、レンズキャップを外してください。






操作部



- ① (ストロボ) / (マイク) ボタン (p. 90、p. 91、基本編 p. 11)
- ② モードダイヤル (p. 45、基本編 p. 8)
- ③ シャッターボタン (基本編 p. 6)
- ④ ズームレバー
撮影時： (望遠) / (広角) (p. 40、基本編 p. 10)
再生時： (拡大) / (縮小) (p. 83)
- ⑤ (連写) / (セルフタイマー) ボタン (p. 41、p. 42)
- ⑥ 電源/モードランプ
橙点灯：撮影モード 緑点灯：再生/プリンター接続モード
黄点灯：パソコン接続モード
- ⑦ OFF ボタン
- ⑧ モードレバー (基本編 p. 3)
- ⑨ A/V OUT (映像/音声出力) 端子 (p. 103)
- ⑩ 端子カバー
- ⑪ 液晶モニター (基本編 p. 2)
- ⑫ スピーカー
- ⑬ (マクロ) ボタン (基本編 p. 12)
- ⑭ MF (マニュアルフォーカス) ボタン (p. 63)

操作部



- ① 視度調整ダイヤル (p. 16)
- ② ビューファインダー接眼部 (p. 16)
- ③ 動画ボタン (p. 45、基本編 p. 7)
- ④ 十字ボタン
▲ (上) ▼ (下)
◀ (左) ▶ (右)
- ⑤ ランプ
赤点滅：メモリーカードへ記録中/メモリーカードからの読み出し中/メモリーカードからの消去中/データ転送中 (パソコン接続時)
- ⑥ MENU (メニュー) ボタン (p. 27、基本編 p. 16)
- ⑦ SET (セット) /  (AF枠選択) ボタン (p. 60、基本編 p. 15、p. 16)
- ⑧ DISP. (ディスプレイ) ボタン (p. 16)
- ⑨  (ショートカット) /  (イージーダイレクト) ボタン (p. 59、基本編 p. 17、p. 24)
- ⑩ ISO (ISO感度) /  (ジャンプ) ボタン (p. 65、p. 84)
- ⑪ FUNC. (ファンクション) /  (1画像消去) ボタン (p. 26、基本編 p. 14、p. 15)

ご使用の前に—基本操作

液晶モニターとビューファインダーの使いかた

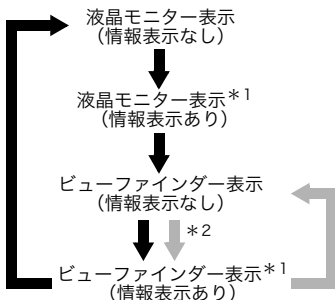
DISP. ボタンを押すと、表示の切り換えができます。
撮影モードでは情報表示設定 (p. 17) の内容で切り換わります。
また、液晶モニターを閉じると、ビューファインダー表示に切り換わります。

1 DISP. ボタンを押す

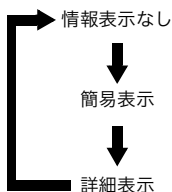
- 次のように切り換わります。

撮影モードのとき (📷)

液晶モニターを開いているとき
(初期設定)



再生モードのとき (▶)



*1 初期設定は、撮影情報、グリッドライン、ヒストグラム(P、Tv、Av、Mのみ)を表示

*2 液晶モニターを閉じているとき

- 撮影モード時にストロボなどの設定を変更したときは、上記の設定に関係なく約6秒間撮影情報が表示されます。
- 液晶モニターとビューファインダーの明るさを調整できます (p. 31)。
- 屋外など周囲が明るい場所で液晶モニターが見えにくいときは、ビューファインダーを使って撮影してください。また、ビューファインダーから情報表示 (p. 20) がはっきり見えるように、視度調整ダイヤル (p. 15) で調整してください。



- 液晶モニターまたはビューファインダーの表示の設定は、電源を切っても保持されます。
- インデックス再生時(p. 83)は、詳細表示に切り換わりません。

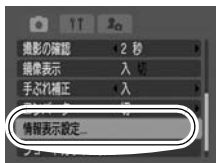
情報の表示内容を設定する

液晶モニターとビューファインダーそれぞれに、次の情報の表示 / 非表示を設定し、DISP. ボタンで切り換えることができます。

- 撮影情報
 - グリッドライン
 - ヒストグラム* (p. 18)
- * P、Tv、Av、Mのみ表示できます。

1 [撮影]メニュー→[情報表示設定]

メニュー操作(p. 27)



2 [表示先] → [i] * / [a] * / [i] * / [a] *

- DISP. ボタンを押したときに、情報表示させたい液晶モニターやビューファインダーを、▲▼◀▶ で選び、SET ボタンを押して、✓をつけます。
- 現在選択されている表示先は非表示設定できません。
- ②マークがある表示先は、DISP. ボタンを押しても表示しません。

* 初期設定

ビューファインダー
液晶モニター



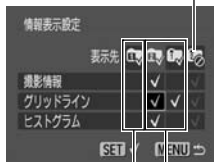
現在選択されている表示先

3 [撮影情報]*/[グリッドライン]* /[ヒストグラム]*

- 選んだ表示先に表示させたい項目を ▲▼◀▶ で選び、SET ボタンを押して、✓をつけます。
- ✓がひとつもない出力先は、情報が表示されません。
- 表示させたい項目が灰色になっていても設定はできますが、この撮影モードでは表示できません。

* 初期設定：、：情報表示なし
、：撮影情報、グリッドライン、ヒストグラムを表示

DISP.ボタンを押しても表示されません



✓のある項目が表示されます

情報表示なしとなります

シャッターボタンを半押しして情報表示設定画面から撮影画面に戻ると、設定内容は保存されません。

ヒストグラムについて

ヒストグラムは、画像の明るさを判断するためのグラフで、**P**、**Tv**、**Av**、**M**モードではこれを表示させ、確認しながら撮影できます。グラフが左に寄るほど暗い画像になり、右に寄るほど明るい画像になります。暗いほうに偏っているときは、露出をプラス側に補正し、明るいときは、マイナス側に補正して撮影します(p. 69)。

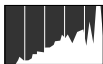
ヒストグラム例



暗い画像



普通の明るさの画像



明るい画像



- 露出をプラス側に補正する以外に、シャッタースピードを遅くしたり、絞り数値を小さくしても、明るい画像に補正できます。同様に、露出をマイナス側に補正する以外に、シャッタースピードを速くしたり、絞り数値を大きくしても、暗い画像に補正できます。

ナイトビュー機能について

暗い場所での撮影時は、被写体の明るさに合わせて、カメラが自動的に液晶モニターまたはビューファインダーに表示される画像の明るさを調整するため*、暗い場所でも画角合わせがしやすくなります。

*液晶モニターまたはビューファインダーに表示される被写体の動きがややぎこちなくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。なお、モニター上に表示される明るさと、実際に撮影される画像の明るさは異なります(この機能は解除できません)。

液晶モニターに表示される情報

撮影情報(撮影モードのとき)

[]*¹ スポット測光枠

□*¹ AF枠(p. 60)

■*¹ バッテリー残量低下(p. 121)

— グリッドライン*²(p. 17)

— ズーム倍率*¹(p. 40)

— ズームバー*¹

— ピントの合う範囲(目安)*¹

— バッファー警告*³

— ヒストグラム*²(p. 18)

— 静止画:記録可能画像数*⁴
— 動画:記録可能時間*⁴/記録時間(撮影中)

ISO 80 ISO 100 ISO 200 ISO 400 ISO 800 HI
ISO感度(p. 65)

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □
ドライブモード(p. 41、p. 42)

🌸 📷 マクロ/スーパーマクロ
(p. 39、基本編 p. 12)

⚡ 👁 ⚡ 🔄
ストロボ(基本編 p. 11)

🔄 🔄 🔄 縦横自動回転(p. 79)

● 録画(赤)*¹
動画記録時(p. 45)

AUTO 🔄 📷 📷 📷 📷 📷 📷
📷 📷 📷 📷 📷 📷 📷 📷
📷 *¹ P Tv Av M
撮影モード(p. 45、基本編 p. 8)

Ⓢ カスタム登録(p. 78)

🌪 *¹ ウィンドカット(p. 49)

✈ エリア設定(p. 24)

📁 *¹ フォルダ作成通知(p. 80)

🚫 撮影不可(p. 48)

*¹
AEロック/FEロック(p. 66、67)
シャッタースピード*¹(p. 56)
絞り数値*¹(p. 57)
MF *¹
マニュアルフォーカス(p. 63)

—
露出シフトバー(動画)(p. 46)

📷 📷 📷 📷 📷
📷 📷 📷 📷 📷
手ぶれ補正(p. 38)*¹

Int. インターバル撮影(p. 76)*¹

AFL *¹ AFロック(p. 62)

-2...+2 露出補正(p. 69)

☀ ☁ 🌧 🌩 ⚡ 📷
ホワイトバランス(WB)(p. 70)

Av An Cse Csw Ap AL
Ad Ab Ag Ar Ac
マイカラー(p. 72)

📷 📷 📷 📷
ブラケット(p. 64、p. 69)

📷 📷
ストロボ調光補正(p. 75)
ストロボ発光量(p. 75)

📷 [] []
測光方式(p. 67)

📷 640 640 320 320 320
-30 -15 60 30 -15
動画記録画素数/フレームレート(p. 47)

📷 📷 📷
圧縮率(p. 36)

L M1 M2 S 📷
記録画素数(p. 36)

📷 (赤)*¹ 手ぶれ警告(p. 21)

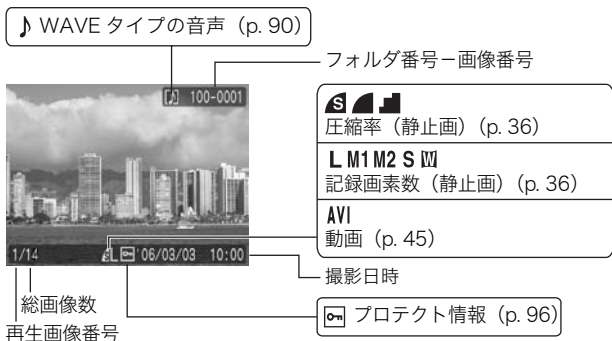
- *1 情報表示なしのときも表示されます。
- *2 情報表示設定 (p. 17) に従って表示されます。
- *3 通常は表示されません。動画記録時に内部メモリー(バッファ)が半分以下になると表示されます(バッファ警告がいっぱいまで点灯すると、撮影や記録を途中で中止する場合があります)。
- *4 静止画記録可能画像数、または動画記録可能時間(待機時)は、どちらかの記録可能容量がいっぱいになったときに、0 を赤字で表示します。両方の記録可能容量がいっぱいになったときは、「カードがいっぱいです」のメッセージが表示されます。



- 情報表示なしでも、撮影の設定を変更した場合などは、情報が約 6 秒間表示されます(そのときのカメラの設定内容によって、表示されないこともあります)。
- 光量不足のときは、撮影準備完了時に液晶モニター(またはビューファインダー)に「ストロボを上げてください」または (手ぶれ警告) や (ストロボ警告) が赤く表示されます。以下のいずれかの方法で撮影してください。
 - 手ぶれ補正機能 (p. 38) を [切] 以外にする
 - ISO 感度を上げる
 - ストロボを上げてオートまたは常時発光にする
 - 三脚などでカメラを固定する

再生情報(再生モードのとき)

■簡易表示



■ 詳細表示



ヒストグラム(p. 18)

<p>P Tv Av M 撮影モード (p. 45、50、51、55、基本編 p. 8)</p>
<p>動画撮影中に記録した静止画の画像 (p. 48)</p>
<p>レタッチマイカラーの画像(p. 88)</p>
<p>ISO 80 ISO 100 ISO 200 ISO 400 ISO 800 ISO HI ISO 感度(p. 65)</p> <p>640 320 160 80 動画記録画素数/フレームレート(p. 47)</p>

<p>-2...+2 露出補正(p. 69)</p>
<p>マクロ/スーパーマクロ(基本編 p. 12、p. 39)</p>
<p>AV AN cSe cW AP AL AD AB AG AR AC AA AS マイカラー(p. 72)</p>
<p>AV AN cSe cW AP AL AD AB AG AR レタッチマイカラー(p. 88)</p>
<p>測光方式(p. 67)</p>
<p>AWB ホワイトバランス(p. 70)</p>
<p>-2...+2 ストロボ調光補正(p. 75) ストロボ発光量(p. 75)</p>
<p>MF マニュアルフォーカス(p. 63)</p>
<p>シャッタースピード(p. 56)</p>
<p>絞り数値(p. 57)</p>
<p>ファイルサイズ</p>
<p>記録画素数(静止画)(p. 36) 記録時間(動画)(p. 45)</p>

画像によっては、以下の情報を表示することがあります。

	WAVE タイプ以外の音声ファイル、または、認識できないファイルがっています。
	DCF(p. 139)の規格と異なる構造を持つ JPEG タイプです。
RAW	RAW タイプです。
	認識できないタイプです。



- 他のカメラで撮影した画像は、情報が正しく表示されないことがあります。
- 高輝度警告について**
以下のとき、撮影画像に露出オーバー部分があると、その個所が点滅表示されます。
 - 撮影直後に、液晶モニター（情報表示あり）またはビューファインダー（情報表示あり）で画像を確認したとき
 - 再生モードで詳細表示にしたとき

節電機能について

このカメラには、節電機能がついています。
次のようなときに電源が切れます。再度電源を入れると復帰します。

撮影時	約3分間、何も操作しないとき。節電機能が[切]でも、液晶モニター（またはビューファインダー）を表示して約1分間*何も操作しないと[ディスプレイオフ]が働き、液晶モニター（またはビューファインダー）が消えます（OFF ボタン以外のボタンを押すか、またはカメラの縦・横の向きを変えるとつきます）。
再生時 プリンター接続時	約5分間、カメラの操作を何もしないとき

*初期設定（時間を変更できます）。



- 節電機能が働いて電源が切れても、微量の電力が消費されますのでご注意ください。
- スライドショーで自動再生中およびパソコン接続時は、節電機能は働きません。
- 節電機能の設定を変更できます（p. 31）。

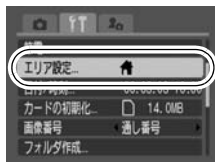
世界時計を設定する

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先(旅行先)のエリアを登録しておく、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付/時刻を設定しなおす必要がなく便利です。

自宅 / 訪問先のエリアを設定する

1 (設定)メニュー → [エリア設定]


メニュー操作(p. 27)



2 (自宅) → SET ボタン



3 ◀▶ で自宅エリアを選ぶ → SET ボタン

- サマータイムを設定する場合は、▲▼で  (サマータイム) アイコンを表示します。時間は1時間プラスされます。



4 (訪問先) → SET ボタン → 手順3と同様に訪問先のエリアを設定する

訪問先の日付に切り換える

1 (設定)メニュー → [エリア設定]

メニュー操作 (p. 27)

2 で (訪問先) を選ぶ → MENU ボタン

- 訪問先のエリアを変更する場合は、SET ボタンを押します。
-



自宅のエリア選択をしないと、訪問先は設定できません。



- 訪問先が選択されているときに、日付/時刻の変更を行うと、自宅の日時も自動的に変更されます。

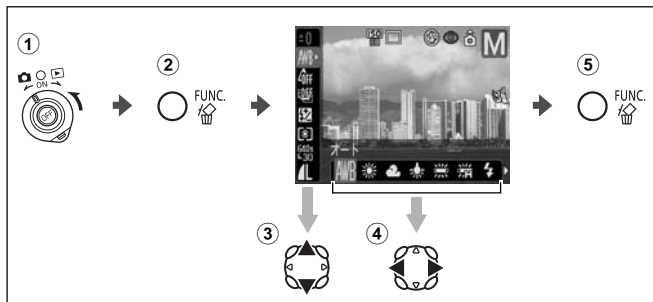
メニューの表示と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、印刷の設定、日付 / 時刻、電子音などのカメラの設定は、メニューを使って設定します。次のメニューがあります。

- FUNC.メニュー
- 撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニュー

FUNC. メニュー

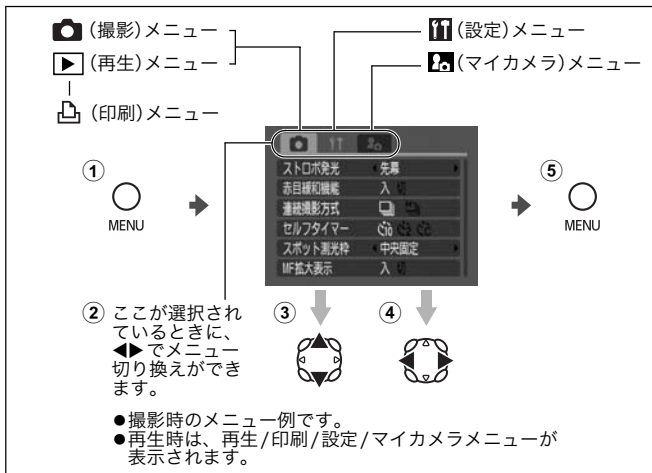
撮影時によく使う機能を設定します。



- ① 撮影モードにする
- ② FUNC.ボタンを押す
- ③ ▲▼でメニュー項目を選ぶ
撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。
- ④ ◀▶で設定内容を選ぶ
設定項目によっては、SETボタンでさらに変更できます。
選択後、シャッターボタンを押してすぐに撮影できます。撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。
- ⑤ FUNC.ボタンを押す

撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニュー

撮影/再生/印刷時の便利な機能を設定します。



① MENUボタンを押す

② ◀▶でメニューを切り換える

ズームレバーでもメニューの切り換えができます。

③ ▲▼でメニュー項目を選ぶ

撮影モードによって、表示されるメニュー項目が異なります。

④ ◀▶で設定内容を選ぶ

「...」のある項目では、SETボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度SETボタンを押して設定内容を確定します。

⑤ MENUボタンを押す

メニュー一覧

FUNC. メニュー


項目	参照先
露出補正	p. 69
ホワイトバランス	p. 70
マイカラー	p. 72
ブラケット	p. 64, p. 69
ストロボ調光補正 / ストロボ発光量	p. 75
測光方式	p. 67
動画記録画素数 / フレームレート	p. 47
記録画素数 (静止画)	p. 36
圧縮率 (静止画)	p. 36

撮影メニュー

項目	選択項目	参照先
ストロボ発光	先幕* ¹ / 後幕	p. 76
スローシンクロ	入 / 切* ¹	p. 37
ストロボ自動調光	入* ¹ / 切	p. 75
赤目緩和機能	入* ¹ / 切	基本編 p. 12
連続撮影方式	(通常連続撮影)* ¹ / (高速連続撮影)	p. 41
セルフタイマー	(10 秒)* ¹ / (2 秒) / (カスタム)	p. 42
スポット測光枠	中央固定* ¹ / AF 枠連動	p. 68
セーフティシフト	入 / 切* ¹	p. 58
MF 拡大表示	入* ¹ / 切	p. 63
AF モード	CONT* ¹ / SINGLE	p. 63
AF 補助光	入* ¹ / 切	p. 12
録画ランプ	入* ¹ / 切	p. 45

項目	選択項目		参照先
デジタルズーム	入 / 切* ¹ (動画時の初期設定は[入])		p. 40
撮影の確認	切 / 2 秒* ¹ ~ 10 秒 / ホールド		基本編 p. 7
オリジナル保存	入 / 切* ¹		p. 54
鏡像表示	入* ¹ / 切		基本編 p. 2
手ぶれ補正	切 / 入* ¹ / 撮影時* ² / 流し撮り* ²		p. 38
コンバータ	切* ¹ / WC-DC58A / TC-DC58B		p. 131
インターバル撮影	撮影間隔: 1 分* ¹ ~ 60 分 撮影枚数: 2 枚* ¹ ~ 100 枚		p. 76
情報表示設定	表示先	液晶モニター1、2 ビューファインダー 1、2	p. 17
		入* ⁴ / 切	
	撮影情報	入 * ⁵ / 切* ⁶	
	グリッドライン* ³	入 * ⁵ / 切* ⁶	
	ヒストグラム	入 * ⁵ / 切* ⁶	
ショート カット登録	—		p. 59
カスタム登録	—		p. 78

*1 初期設定

*2  では設定できません。









*3 被写体の水平や垂直を確認するグリッドライン(9分割)を表示でき、構図が決めやすくなります。なお、グリッドラインは画像には記録されません。

*4 初期設定はすべて[入]となります。

*5 液晶モニター2、ビューファインダー2の初期設定

*6 液晶モニター1、ビューファインダー1の初期設定



再生メニュー

項目	参照先
 再生効果	p. 88
 スライドショー	p. 93
 レタッチマイカラー	p. 88
 サウンドレコーダー	p. 91
 プロテクト	p. 96
 回転	p. 87
 全消去	p. 97
 送信指定	p. 101

印刷メニュー




項目	参照先
印刷	—
印刷する画像を指定	p. 98
すべての画像を指定	p. 99
すべての指定を解除	p. 100
印刷の設定	p. 100

設定メニュー





項目	選択項目	内容 / 参照先
消音	入 / 切* ¹	[入]に設定すると、警告音以外はすべて鳴りません(基本編 p. 4)。
音量		起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音、再生音の音量を調節します。ただし、[消音]が[入]になっていると設定できません。
起動音量		カメラ起動時の音量を調節します。
操作音量		シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音量を調節します。
セルフタイマー音		撮影2秒前から撮影するまでのセルフタイマー音の音量を調節します。
シャッター音量		シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。
再生音量		動画再生時、音声メモ、またはサウンドレコーダーの音量を調節します。
オーディオ		マイクレベル、ウィンドカット、サンプルレートを設定します。(p. 49)
液晶の明るさ	 (標準)* ¹ /  (明るい)	液晶モニター/ビューファインダーの明るさを別々に設定します(明るさを設定したいほうを表示してから設定します)。
節電		p. 23
オート パワーオフ	入* ¹ / 切	一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかを設定します。
ディスプレイ イオフ	10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分* ¹ / 2分 / 3分	カメラの操作をしないときに、自動的に液晶モニター(またはビューファインダー)を消す時間を設定します。
エリア設定	自宅* ¹ / 訪問先	p. 24
日付 / 時刻		基本編 p. 4
カードの 初期化		p. 35
画像番号	通し番号* ¹ / オートリセット	p. 81

項目	選択項目	内容 / 参照先
フォルダ作成		p. 80
新規作成	チェックをつける と設定できます。	次の撮影時にフォルダを作成します。
自動作成	切* ¹ / 毎日 / 月曜～日曜 / 毎月	作成時間も設定できます。
縦横自動回転	入* ¹ / 切	p. 79
距離表示	m/cm * ¹ また は ft/in	MF インジケーターやピントの合う範囲の距離表示の単位を設定します。
言語		基本編 p. 5
ビデオ出力方式	NTSC * ¹ / PAL	p. 103、p. 134
印刷接続方式	自動* ¹ /  (PictBridge 接続)	下記参照* ²
初期設定		p. 34

*1 初期設定

*2 プリンターの接続方式を変更できます。通常、設定を変更する必要はありませんが、 (ワイド) で撮影した画像をキヤノン コンパクトフォトプリンター SELPHY CP710/CP510 でワイドサイズ用紙全面に印刷するときは、 を選択してください。この設定は電源を切っても記憶されますので、 以外の画像サイズを印刷するときは [自動] に戻してください (ただし、プリンター接続中は変更できません)。

マイカメラメニュー

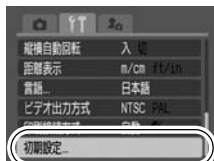
項目	内容	参照先
セット	起動画面、起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音に共通するテーマを選びます。	p. 104
起動画面	電源を入れたときの起動画面を選びます。	
起動音	電源を入れたときの起動音を選びます。	
操作音	シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音を選びます。	
セルフタイマー音	セルフタイマー撮影で 2 秒前をお知らせする音を設定します。	
シャッター音	シャッターボタンを全押ししたときの音を選びます(動画撮影時には鳴りません)。	
設定内容	 (切) /  1 * /  / 	

* 初期設定

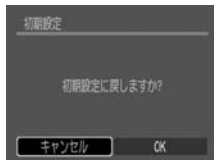
設定を初期状態に戻す

1 [設定]メニュー→[初期設定]

メニュー操作(p. 27)



2 [OK]→SETボタン




- パソコンまたはプリンター接続時は初期状態に戻せません。
- 以下の設定は初期状態に戻りません。
 - [設定]メニューの[日付/時刻]、[言語]、[エリア設定]、[ビデオ出力方式]の設定内容(p. 32)
 - **SCN**モードのワンポイントカラー(p. 52)とスイッチカラー(p. 53)で取り込んだ色
 - **C**モードの設定内容(p. 78)
 - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ(p. 71)
 - 新しく登録したマイカメラコンテンツ(p. 104)
- カメラが撮影モードでモードダイヤルが**C**のときは、**C**に登録してある設定のみ、初期設定に戻ります。
それ以外のときは、**C**の内容は初期化されません。

メモリーカードを初期化する

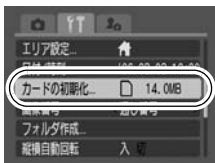
新しいメモリーカードをお使いになるときや、メモリーカード内の画像だけでなく他のデータもすべて消去したいときは、メモリーカードを初期化します。



- 初期化すると、メモリーカードに記録された画像(プロテクト画像も含む)だけでなく、すべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- のアイコンが画面に表示されているときは、音声だけのデータが残っています。十分に確認してから、初期化してください。

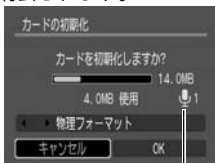
1 (設定)メニュー→[カードの初期化]

メニュー操作(p. 27)



2 [OK]→SETボタン

- 物理フォーマットをする場合は、▲▼で [物理フォーマット] を選び、◀▶を押してチェックをつけます。
- 物理フォーマットの場合、初期化中にSETボタンを押すと、中止することができます。中止した場合でも、そのメモリーカードは問題なくお使いになれますが、データはすべて消去されます。



音声だけのデータ(p. 91)がある場合に表示されます。



- 物理フォーマットについて
メモリーカードへの記録 / 読み出し速度が低下したと思われる場合などは、[物理フォーマット]を選択することをおすすめします。なお、メモリーカードによっては物理フォーマットに2~3分かかる場合があります。

よく使う撮影機能

記録画素数と圧縮率を変更する(静止画)

撮影モード **AUTO** SCN P Tv Av M

1 FUNC.メニュー→*(圧縮率/記録画素数)→ (記録画素数)

メニュー操作(p. 26)

- ◀▶で記録画素数を選びます。
- ではの設定はできません。

*初期設定



2 SETボタンを押す→*(圧縮率)

- ◀▶で圧縮率を選びます。

*初期設定








記録可能画像数

記録画素数を選ぶときの目安

記録画素数		用途
画面表示	画素数	
L(ラージ)	2816 × 2112 画素	大 ↑ A3 サイズ程度に印刷するとき A4 サイズ程度に印刷するとき L判やはがきサイズに印刷するとき
M1(ミドル 1)	2272 × 1704 画素	
M2(ミドル 2)	1600 × 1200 画素	小 ↓ 電子メールで画像を送信するとき、またはより多くの画像を撮影するとき
S(スモール)	640 × 480 画素	
ワイド	2816 × 1584 画素	ワイドサイズの用紙に印刷するとき(縦横比 16:9 の画像を記録できます。なお、記録されない領域は液晶モニター上に黒帯が表示されます。)

圧縮率を選ぶときの目安


圧縮率		用途	
 スーパーファイン	きれい	より良い画質で撮影するとき	
 ファイン	↑ ↓		通常の撮影をするとき
 ノーマル	普通	より多くの画像を撮影するとき	

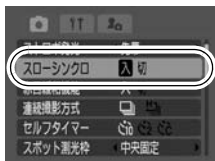
-  ●1画像の容量(目安)(p. 141)
-  ●メモリーカードの種類と記録可能画像数/時間(目安)(p. 140)

スローシンクロを設定する


撮影モード **P Av**

遅いシャッタースピードで、ストロボを発光して撮影します。夕暮れや夜景をバックに人物を撮影するとき、また夜景や室内での撮影などで、背景だけが暗くなるのを軽減できます。

-  (撮影)メニュー→
[スローシンクロ]→[入]/[切]*
メニュー操作(p. 27)



*初期設定

-  ●ストロボ発光時に有効なシャッタースピードは、最高で1/500秒です。1/500秒よりも高速のシャッタースピードを設定した場合は、自動的に1/500秒に再設定され、撮影されます。
- [手ぶれ補正]を[入]にしても、[スローシンクロ]を[入]にして撮影すると手ぶれしやすくなります。その場合、三脚をお使いになることをおすすめします。



よく使う撮影機能

手ぶれ補正を設定する

撮影モード **AUTO**       **P** Tv Av M

手ぶれ補正機能を使うと、遠くの被写体を大きくして撮影したいときや、薄暗い場所で撮影するときでも手ぶれを抑えた画像を撮影できます。

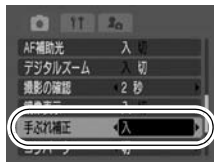
手ぶれ補正の種類

入	常時、手ぶれを補正します。液晶モニター(またはビューファインダー)で手ぶれ補正の効果を確認できるため、構図を決めたり、ピント合わせがしやすくなります。
撮影時	シャッターがきれる瞬間のみ手ぶれを補正します。被写体によっては感じることもある、液晶モニター(またはビューファインダー)上の不自然な揺れを気にせず撮影できます。  では設定できません。
流し撮り	カメラが上下方向にぶれたときにだけ、手ぶれを補正します。動いているものをカメラで追いかけて撮影するときにおすすめします。  では設定できません。










1 (撮影)メニュー→[手ぶれ補正]→[入]*/[撮影時]/[流し撮り]/[切]

メニュー操作(p. 27)

* 初期設定



情報表示ありのときは、液晶モニター(またはビューファインダー)に、以下のアイコンが表示されます。

[入]	[撮影時]	[流し撮り]		参照先
			レンズコンバーターなし	—
			別売のテレコンバーター装着時	p. 131
			別売のワイドコンバーター装着時	p. 131

- 夜景撮影など、シャッタースピードを遅くして撮影するときは手ぶれを補正しきれないことがあります。三脚の使用をおすすめします。
- 手ぶれが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- [流し撮り]は、カメラを横に構えてお使いください(カメラを縦に構えると、補正を行いません)。

さらに接近して撮る(スーパーマクロ)

撮影モード SCN (A/S) P Tv Av M

通常のマクロ撮影よりも被写体に近づき、さらに拡大して撮影できます。背景も、通常のマクロ撮影とは違った効果で撮影することができます。

レンズ先端から被写体までの距離が以下のときに撮影可能です。
0~10cm(ワイド端固定)

1 液晶モニター(またはビューファインダー)に☼が表示されるまで☼ボタンを押し続ける

- 再度☼ボタンを押すと、スーパーマクロモードを解除できます(マクロモードも解除されます)。
- 被写体に最も近づいたときの撮影範囲は、22×16mm(ワイド端)です。



花に0cmまで近づいたとき

デジタルズームで撮る

撮影モード

AUTO



* 、では設定できません。

光学ズームと組み合わせて、拡大して撮影できます。

- 静止画：最大約48倍
- 動画：最大約48倍



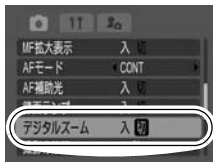
● (ワイド)のときは、デジタルズームは使えません。

1 (撮影)メニュー→[デジタルズーム]→[入]/[切]*

メニュー操作(p. 27)

- 動画は初期設定が[入]になっています。

* 初期設定



2 ズームレバーを 側へ回して、撮影する

- 光学ズームで最も望遠側まで拡大すると、いったん停止します(静止画撮影時)。もう一度ズームレバーを 側に戻すと、デジタルズームが働き、さらに拡大できます。
- 側に戻すと、倍率が下がります。

光学ズーム域(白)

デジタルズーム域(青)



約2秒後



光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率



● デジタルズームは、拡大するほど画像が粗くなります。

📷 連続して撮る

撮影モード

SCN* P Tv Av M

* 、では設定できません。

シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影できます。
なお、推奨メモリーカード*¹をお使いの場合は、一定の撮影間隔でメモリーカードの容量いっぱいになるまで撮影(スムーズ連写)できません(p. 140)。*²

●連続撮影が中断したときに、メモリーカードの容量が余る場合があります。

	通常連続撮影 約 1.5 画像 / 秒* ² * ³	被写体を確認しながら連続撮影したいときにおすすめします。
	高速連続撮影 約 2.3 画像 / 秒* ² * ³	速いシャッター間隔で連続撮影したいときにおすすめします。

- *¹ 推奨メモリーカード：
撮影直前に物理フォーマット(p. 35)を行った超高速のSDC-512MSH(別売)
- *² 当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。
- *³ ラージ/ファイン時

1 📷 ボタンを押して📷を表示する

- では初期設定で📷になります(ただし、 (高速連続撮影)は設定できません)。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間は、撮影が続きます。
シャッターボタンを放すと、撮影が終了します。

解除のしかた: 📷 ボタンを押して📷を表示する



- カメラの内部メモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなります。
- ストロボが発光する場合には、ストロボの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。

連続撮影方法を設定する

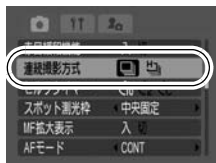
通常連続撮影か高速連続撮影かを設定します。

1 (撮影)メニュー→[連続撮影方式]→* /

メニュー操作 (p. 27)

- 連続撮影できるモードで設定してください。

* 初期設定



2 MENU ボタンを押す






- 電源を切ると連続撮影は解除されますが、連続撮影方式の設定は保持されます。

セルフタイマーで撮る

撮影モード



シャッターボタンを押してから、10秒後()、2秒後()、または撮影の開始時間や撮影枚数を設定(:カスタム)して撮影できます。

1 ボタンを押して *、 または を表示する

* 初期設定

2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが点滅 (赤目緩和の場合は2秒前から点灯) します。

解除のしかた :  ボタンを押して、 を表示する



- セルフタイマー音を変更する (p. 33, p. 104)

セルフタイマーの時間を変更する(📷/📷)

1 📷 (撮影)メニュー → [セルフタイマー] → 📷 *1 / 📷
メニュー操作 (p. 27)

● 次のようになります。

- 📷: 撮影の2秒前になるとセルフタイマー音が速く鳴り*2、セルフタイマーランプの点滅も速くなります。
- 📷: シャッターボタンを押すと同時にセルフタイマー音が鳴り、2秒後に撮影されます。

*1 初期設定

*2 マイカメラコンテンツの設定により異なります。

撮影の開始時間や撮影枚数を変更する (📷)

開始時間(0~10、15、20、30秒)や撮影枚数(1~10枚)を変更できます。ただし、SCNモードの **A** (ワンポイントカラー)、**S** (スイッチカラー)、**□** (スティッチアシスト)、**🎞** (動画)では設定できません。

1 📷 (撮影)メニュー → [セルフタイマー] → 📷

メニュー操作(p. 27)



2 [時間]*と[枚数]*を変更

➔SETボタン

- セルフタイマー音は、次のようになります。
 - 2秒以上の時間を設定したときは、撮影の2秒前から速く鳴り始めます。
 - [枚数]で複数画像を設定した場合、1画像目の撮影時のみ鳴ります。

*初期設定は10秒、3枚



- [枚数]が2枚以上の場合、次のようになります。
 - 1画像目の撮影で、露出やホワイトバランスが固定されます。
 - ストロボが発光するときは、撮影間隔が長くなります。
 - カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなる場合があります。
 - メモリーカードの容量がいっぱいになると自動的に撮影を終了します。

モードダイヤルを使う

📹 動画を撮る

撮影モード **AUTO** 📷 📺 📹 📺 SCN 📷 📺 P Tv Av M

モードダイヤルがどの位置にあっても、動画ボタンを押すだけで、動画を撮影*¹できます。

動画記録画素数/フレームレートの選択(p. 47)ができ、「ワンポイントカラー」、「スイッチカラー」、「マイカラー」などと組み合わせても撮影できます。また、音声はステレオで記録されます。

● 1回の最大記録容量は1GB*²です。

*1 メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。(超高速のメモリーカード使用時(推奨メモリーカード:SDC-512MSH))

*2 記録容量が1GBに達していなくても、撮影時間が1時間に達した時点で記録を停止します。
メモリーカードの容量、データ書き込み速度により、1GB または 1 時間に満たなくても記録が停止します。

1 動画ボタンを押し、撮影する

- 動画ボタンを押すと撮影が開始されます。
- 音声も同時に記録されます。
- 撮影中は、液晶モニター(またはビューファインダー)に撮影時間と[● 録画]が表示されます。
- 撮影中は録画ランプが赤点滅します。終了すると消灯します。撮影メニューの[録画ランプ]が[切]に設定されているときは点滅しません(p. 28)。
- 再度動画ボタンを押すと、撮影が終了します。
なお、以下の場合は自動的に撮影が終了します。
 - 最大記録容量や最長記録時間を経過したとき
 - 内部メモリーやメモリーカードの容量がいっぱいになったとき
- ワンポイントカラー、スイッチカラーで撮影する場合は、あらかじめSCNモードで設定してください(p. 51)。
- 静止画の記録画素数を **M** に設定して動画撮影しても、記録される動画の縦横比は通常画面と同じ4:3になります。





- 動画を撮影するときは、このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください(p. 35)。付属のメモリーカードはそのままお使いになれます。
- 撮影中は、次のことに注意してください。
 - マイクに触れないでください。
 - 動画ボタン以外のボタンを押すと、ボタンを押す音も記録されてしまいます。
 - 撮影状況に応じて、カメラが自動的に適切な露出、ホワイトバランスを調整します。カメラが自動的に露出を調整する音が、一緒に記録される場合もあります。
- このカメラで撮影した^④の画像は、他のカメラで正しく再生できない場合があります。



- MF ボタンを押すと、その状態でAF ロックします。液晶モニター（またはビューファインダー）にMFが表示されます。もう一度MFボタンを押すと解除できます。ショートカットボタンにAFロックを登録したときは、^④ボタンを押すと、動画撮影中でもAFをやり直してロックします(AFLが表示されます)。
- 動画撮影中に、AE ロック(p. 66)と露出シフトができます(モードダイヤルが^④のときは、撮影前でも設定できます)。
 1. ISOボタンを押す
露出が固定(AEロック)し、液晶モニター(またはビューファインダー)に露出シフトバーが表示されます。
 2. ◀▶で露出を変更する
もう一度、ISOボタンを押すと解除できます。また、MENUボタンを押したり、ホワイトバランス、マイカラー、撮影モードを変更すると解除されます。
ショートカットボタンにAEロックを登録したときは、^④ボタンを押すと、AEをやり直してロックします(AFLが表示されます)。ただし、露出シフトバーが表示されているときは操作できません。
- モードダイヤルが^④以外のときに動画記録を停止すると、動画撮影前の静止画の設定に戻ります。また、AE ロック(p. 66)と露出シフトの設定は解除されます。

- 動画(タイプ:AVI、圧縮方法:Motion JPEG)をパソコンで再生するには、QuickTime 3.0以上が必要です(付属のCanon Digital Camera Solution Diskには、Windows版のQuickTimeが収められています。なお、Mac OS X以降には標準装備されています)。

動画記録画素数 / フレームレートを変更する

どの撮影モードでも、動画記録画素数 / フレームレートを変更できます。

1 FUNC.ボタン → $\frac{640}{L30}^*$ / $\frac{640}{L15}$ / $\frac{320}{L60}$ / $\frac{320}{L30}$ / $\frac{320}{L15}$ (動画記録画素数 / フレームレート)

メニュー操作 (p. 26)

- ◀▶ で動画記録画素数 / フレームレートを選びFUNC.ボタンを押します。

* 初期設定



撮影可能秒数

動画記録画素数 / フレームレートについて

フレームレートは、1秒間に撮影/再生するフレーム数を表します。フレームレートが高いほど滑らかな動きになります。

	記録画素数	フレームレート
$\frac{640}{L30}$	640 × 480 画素	30 フレーム / 秒
$\frac{640}{L15}$	640 × 480 画素	15 フレーム / 秒
$\frac{320}{L60}$	320 × 240 画素	60 フレーム / 秒
$\frac{320}{L30}$	320 × 240 画素	30 フレーム / 秒
$\frac{320}{L15}$	320 × 240 画素	15 フレーム / 秒



- 1画像の容量(目安) (p. 141)
- メモリーカードの種類と記録可能画像数/時間(目安) (p. 140)。

動画撮影中に静止画を撮る

撮影モード        

動画の撮影中でも高画質*の静止画を撮ることができます。
*設定した静止画の記録画素数と圧縮率になります(**W**を除く)。



1 動画の撮影中に、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

半押しで静止画用にフォーカスと露出などを合わせ直します。
この間、動画の撮影は継続されます。

2 シャッターボタンを全押しして撮影する

- 動画の画像が一瞬黒くなったのち、静止画像が記録され、動画に戻ります。ただし、音声はそのまま記録されます。
- シャッター音も一緒に記録されます(この機能は解除できません)。



- ストロボは発光しません。
- ISO感度は[オート]固定となります。
- 動画の撮影中に、**W**に設定した静止画を撮影した場合、記録画素数は、**L**(ラージ)に固定されます。
- 静止画の連写はできません。
- 静止画を撮影すると、内部メモリーの空きがなくなり、動画撮影を停止することがあります。
- 記録メディアの記録速度が遅かったり、内部メモリーの空きがないときは、以下のアイコンが表示され、静止画撮影できないことがあります。
 -  :点滅中は書き込み処理中です。点灯に変わったなら撮影できます。
 -  :内部メモリーがいっぱいで撮影できません。

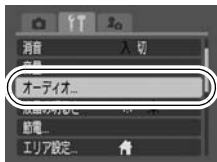
音声モードを変更する

撮影モード **AUTO**    SCN   **P Tv Av M**

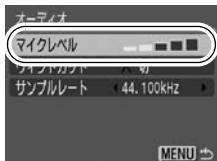
マイクレベル(録音音量)、ウィンドカット、サンプルレートを変更できます。

1 (設定)メニュー→[オーディオ]


メニュー操作(p. 27)



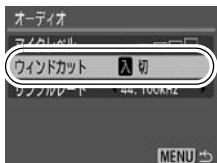
2 [マイクレベル] → ◀▶ で録音音量を設定する



3 [ウィンドカット] → [入]*/[切]

- 風が強いときにおすすめします。
- [入]に設定すると、液晶モニター(またはビューファインダー)に  が表示されます。

* 初期設定

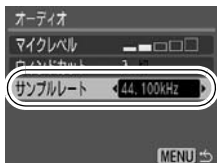


4 [サンプルレート]

→ [44.100kHz]* /
[11.025kHz]/[22.050kHz]


- 11.025kHz、22.050kHz、44.100kHzの順に音質は良くなりますが、記録に必要なメモリー量は多くなります。

* 初期設定



- 録音音量が大きくなりすぎても、自動的に音割れを防ぎます。
- ウィンドカットは、風が強いときに発生する雑音を低減できます。ただし、風がない場所で録音したときは、不自然な音になります。

📷 パノラマ画像を撮る(ステッチアシスト)

撮影モード 

撮影した画像をパソコンで合成(ステッチ)し、パノラマ画像を作るときに使用します。

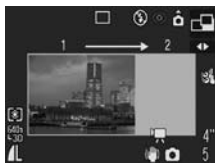


複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作成できます。



1 ◀▶ で撮影方向を選ぶ

- 次の5つの方向が選べます。
 - 左から右方向へ水平に撮影
 - 右から左方向へ水平に撮影
 - 下から上へ垂直に撮影
 - 上から下へ垂直に撮影
 - 左上を基点に時計回りに撮影



2 最初の画像を撮影する

- 1画像目の撮影で、露出やホワイトバランスが固定されます。

3 最初の画像にオーバーラップさせて、次の画像を撮影する

- 十字ボタンの◀▶または▲▼を押すと1つ前の撮影画像に戻り、撮影のやり直しができます。
- オーバーラップは、多少ずれても合成時に修正されます。



4 同様の操作で3画像目以降を撮影する

- 最大26画像まで撮影できます。
- 最後の撮影後、SETボタンを押します。



- 画像をテレビに表示しながらの撮影はできません。
- 2画像目以降の撮影では、最初の撮影の設定が適用されます。





- パソコンでの画像合成には、付属のソフトウェア「PhotoStitch」をお使いください。

SCN 色を変えて撮る

撮影モード SCN ( / )

画像の色味を簡易的に変化させて撮影します。静止画だけでなく、動画でも利用でき、画像効果や映像効果を演出した撮影が楽しめます。ただし、撮影状況によっては、画像が粗くなったり、思い通りの色にならないことがあります。そのため、大切なシーンを撮影するときには、必ず事前に試し撮りすることをおすすめします。なお、静止画の場合には、[オリジナル保存]機能(p. 54)を[入]にすれば、撮影した画像だけでなく、オリジナル画像(元画像)も記録できます。

モードダイヤルを使う

 ワンポイントカラー	画面内の指定した色のみを残し、それ以外を白黒にして撮影できます。
 スイッチカラー	画面内の指定した色を別の色に変更して撮影できます。別の色の取り込みは1色のみで、複数の色から選択はできません。



- 撮影シーンによっては、ISO感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。

ワンポイントカラーモードで撮影する

1 ◀▶で (ワンポイントカラー) を選ぶ▶SETボタン

- 色取り込みモードになり、オリジナルの画像とワンポイントカラーの画像（前回設定した指定色が反映）が交互に表示されます。



2 液晶モニター（またはビューファインダー）の中央の枠内に、残したい色が入るようにカメラを向け、◀を押す

- 指定できるのは1色です。
- ▲▼で残したい色の取り込み範囲を変更できます（±5段階）。
 - −5:残したい色だけを取り込みます。
 - +5:残したい色に近い色も一緒に取り込みます。

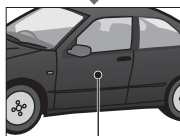
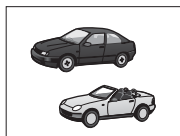
3 SETボタンで設定を終了し、撮影する

- 設定を終了します。
- 動画ボタンを押すと、ワンポイントカラーモードで動画が撮影できます。

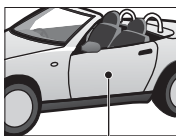


- 初期設定色は緑です。
- ストロボを発光して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 指定した色は、電源を切っても記憶されます。

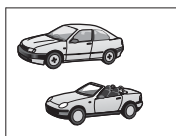
スイッチカラーモードで撮影する



元の色(変更前の色)



目標の色(変更後の色)



1 ◀▶で (スイッチカラー) を選ぶ ➔SET ボタン

- 色取り込みモードになり、オリジナルの画像とスイッチカラーの画像(前回設定した指定色が反映)が交互に表示されます。



モードダイヤルを使う

2 液晶モニター(またはビューファインダー)の中央の枠内に、元の色が入るようにカメラを向け、◀を押す

- 指定できるのは1色です。
- ▲▼で変えたい色の取り込み範囲を変更できます(±5段階)。
-5:変えたい色だけを取り込みます。
+5:変えたい色に近い色も一緒に取り込みます。

3 液晶モニター(またはビューファインダー)の中央の枠内に、目標の色が入るようにカメラを向け、▶を押す

- 指定できるのは1色です。

4 SET ボタンで設定を終了し、撮影する

- 設定を終了します。
- 動画ボタンを押すと、スイッチカラーモードで動画が撮影できます。



- 初期設定では、緑を白に変えて撮影できます。
- ストロボを発光して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 指定した色は、電源を切っても記憶されます。

オリジナル画像の保存方法を変更する

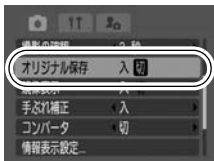
ワンポイントカラー、スイッチカラーで静止画を撮影するときは、色を変えた画像だけでなく、オリジナル画像(色を変える前の画像)も記録するかどうかを設定できます。

1 (撮影)メニュー→[オリジナル保存]→[入]/[切]*

メニュー操作(p. 27)

- [入]の場合、画像番号は連番になります。オリジナル画像が早い番号、ワンポイントカラー、スイッチカラーで撮影した画像が後の番号です。

*初期設定



[オリジナル保存]を[入]に設定した場合



- 撮影時に液晶モニター(またはビューファインダー)に表示される画像は、ワンポイントカラー、スイッチカラーで設定している画像だけです。
- 撮影直後に液晶モニター(またはビューファインダー)には、ワンポイントカラー、スイッチカラーで撮影した画像が表示されます(p. 52、p. 53)。このとき画像を消去すると、オリジナル画像も同時に消去されますので、十分に確認してから消去してください。
- 1回の撮影で2画像記録されるため、液晶モニター(またはビューファインダー)に表示される記録可能画像数は半分になります。

クリエイティブゾーンで撮る

撮影モード **P Tv Av M**

シャッタースピードや絞り数値を選択するなど、カメラの設定を自由に変えて撮影できます。設定を変更した後の撮影のしかたは、「**AUTO** 撮影する(オート)(基本編 p. 6)」と同じです。



- 絞り数値とシャッタースピードの関係について(p. 56)
- シャッタースピードを遅くしたり絞り数値を大きくすると、手ぶれしやすくなります。液晶モニター(またはビューファインダー)に赤色で  (手ぶれ警告)が点滅したら、以下の方法をお試しください。
 -  (手ぶれ補正)機能を使う
 - ISO感度を上げる
 - ストロボを上げて、発光させる
 - 三脚を使う

P プログラム AE で撮る

撮影モード **P**

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り数値をカメラが自動的に設定します。

- 適正露出が得られない場合、シャッターボタンを半押ししたときに、シャッタースピードと絞り数値は赤字で表示されます。次の方法で撮影すると、適正露出が得られ、白字で表示されることがあります。
 - ストロボを使用する (ストロボを上げる)
 - ISO感度を変更する
 - 測光方式を変更する



- 同じ露出でシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変えることができます(p. 66)。

Tv シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード Tv

シャッタースピードを選ぶと、被写体の明るさに応じて、カメラが適正露出になる絞り数値を自動的に設定します。シャッタースピードを速くすると動きの速い被写体の瞬間をとらえることができ、シャッタースピードを遅くすると流動感を表現したり、暗いところでもストロボを発光せずに撮影できます。

1 ◀▶でシャッタースピードを選んで撮影する



- 絞り数値が赤字で表示されたときは、露出アンダー（露出不足）または露出オーバー（露出過多）です。白字で表示されるまで、◀▶でシャッタースピードを調節してください。
- シャッタースピードが遅くなると、CCDの特性により撮影した画像にノイズが増えます。このカメラはシャッタースピードが1.3秒以上のスローシャッター時に、ノイズを除去する処理を行い高画質で撮影します（ただし次の撮影までにしばらく時間がかかります）。



- ズームによって、絞り数値とシャッタースピードは以下のように入ります。

	絞り数値	シャッタースピード(秒)
ワイド端*1	F 2.7 ~ 3.5	~ 1/1600
	F 4.0 ~ 5.0	~ 1/2000
	F 5.6 ~ 7.1	~ 1/2500
	F 8.0	~ 1/3200
テレ端*2	F 3.5 ~ 4.5	~ 1/1600
	F 5.0 ~ 6.3	~ 1/2000
	F 7.1 ~ 8.0	~ 1/2500

*1 最も広角側

*2 最も望遠側

- ストロボ発光時に有効なシャッタースピードは、最高で1/500秒です。1/500秒よりも高速のシャッタースピードを設定した場合は、撮影時に自動的に1/500秒に再設定されます。

シャッタースピードの表示

- 以下のシャッタースピードに設定できます。1/160は1/160秒を表します。また、0"3は0.3秒を、2"は2秒を表しています。

15"	13"	10"	8"	6"	5"	4"	3"	2"	5
2"	1"6	1"3	1"	0"8	0"6	0"5	0"4	0"3	
1/4	1/5	1/6	1/8	1/10	1/13	1/15			
1/20	1/25	1/30	1/40	1/50	1/60	1/80			
1/100	1/125	1/160	1/200	1/250	1/320				
1/400	1/500	1/640	1/800	1/1000	1/1250				
1/1600	1/2000	1/2500	1/3200						

- 同じ露出でシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変えることができます (p. 66)。

Av 絞りを決めて撮る

撮影モード **Av**

絞りとは、レンズを通して入ってくる光の量を調節するものです。絞り数値を選ぶと、被写体の明るさに応じてカメラが適正露出になるシャッタースピードを自動的に設定します。

絞り数値を小さくする(絞りを開く)と、背景をぼかした美しいポートレートが撮影できます。

絞り数値を大きくする(絞りを閉じる)と、奥行きのある風景の手前から遠くまでが鮮明に写ります。絞り数値を大きくするほど、鮮明に写る範囲が広がります。

1 ◀▶ で絞り数値を選んで撮影する



- シャッタースピードが赤字で表示されたときは、露出アンダー(露出不足)または露出オーバー(露出過多)です。白字で表示されるまで、◀▶ で絞り数値を調節してください。

- ズーム位置によっては選べない絞り数値があります。



- ストロボ同調最高シャッタースピードは、1/500 秒になります。したがって、あらかじめ絞り数値を設定していても、ストロボ同調シャッタースピードに応じて絞り数値が自動的に変更されることがあります。

絞り数値の表示

- 表示された数値が大きくなるほど、レンズの絞り径は小さくなり、カメラに入る光量が低くなります。

F2.7	F3.2	F3.5	F4.0	F4.5	F5.0	F5.6	F6.3
F7.1	F8.0						

- 同じ露出でシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変えることができます (p. 66)。

セーフティシフト

Tv、Av のとき、撮影メニューの[セーフティシフト]を[入]にすれば、適正露出を得られない場合でも、自動的にシャッタースピードまたは絞り数値をシフトして、適正露出で撮影できます。

- ストロボ発光時は機能しません。

M 自由にシャッタースピード / 絞りを決めて撮る

撮影モード **M**

シャッタースピードや絞り数値を自分で決定し、撮影します。

1 ◀▶でシャッタースピードを、▲▼で絞り数値を選んで撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、液晶モニター（またはビューファインダー）に標準露出*からのずれが表示されます。このずれが±2段を越えると、液晶モニター（またはビューファインダー）に赤字で「-2」または「+2」と表示されます。

*設定されている測光方式をもとに測光を行って、標準露出を算出します。



- 数値設定後にズームを調節すると、ズーム位置に応じた絞り数値やシャッタースピードに変更される場合があります。
- 液晶モニター(またはビューファインダー)には、設定した絞り数値とシャッタースピードに応じた明るさで画像が表示されます。速いシャッタースピードを設定した場合や被写体が暗い場合、ストロボを上げて、 (常時発光(赤目緩和))または (常時発光)にすると常に明るく表示されます。

いろいろな撮影機能

④ ショートカットボタンを登録する

撮影モード **AUTO** **SCN** **P** **Tv** **Av** **M**

よく使う機能を④(ショートカット)ボタンに1つだけ登録できます。

登録できる機能は以下のとおりです。ただし、撮影モードによっては登録できないものもあります。

- 記録画素数 (静止画) *1 (p. 36)
- 測光方式 (p. 67)
- マイカラー*3 (p. 72)
- AEロック (p. 66)
- ディスプレイオフ (p. 23)
- 動画記録画素数 / フレームレート (p. 47)
- ホワイトバランス*2 (p. 70)
- 手ぶれ補正 (p. 38)
- AFロック (p. 62)
- フォルダ作成 (p. 80)

*1 初期設定

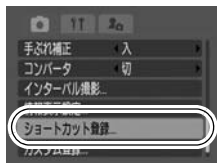
*2 マニュアルは事前に白データの取り込みをしてからお使いください。

*3 カスタムカラーは事前に設定してからお使いください。

機能を登録する

1 (撮影)メニュー→[ショートカット登録]

メニュー操作 (p. 27)

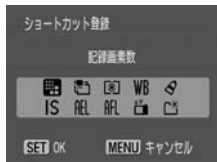


2 ▲▼◀▶で登録したい機能を選ぶ

➔SETボタン

- アイコンの右下に×が表示されている場合、機能の登録はできませんが、現在の撮影モードのままでショートカットボタンを押しても無効となります。

モードダイヤルを
AUTO にしているとき



☑ ショートカットボタンを使う

1 ☑ ボタンを押す

- 登録した機能が呼び出されます。液晶モニター(またはビューファインダー)に機能のアイコンが表示されます(ディスプレイオフを除く)。
- ☑ ボタンを押すたびに、登録されている機能の設定値が切り換わります。
- 現在の撮影モードで無効となる機能が設定されている場合は、何も表示されません。



☒ AF枠を移動する

撮影モード **P Tv Av M**

AF枠はオートフォーカスでピントを合わせるための枠で、任意の位置に移動できます(アクティブフレームコントロール)。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。

1 ☒ ボタンを押す

- AF枠が緑色になります。

2 ▲▼◀▶でAF枠を移動し、☒ ボタンを押す

- AF枠を移動したあと☒ ボタンの代わりにシャッターボタンを押すと、すぐに撮影できます。
- ☒ ボタンを押しつづけると、AF枠がもとの位置(中央)に戻ります。



- デジタルズーム使用時は、AF 枠は中央 1 点に固定されます。
- シャッターボタンを半押ししたとき、AF 枠の表示は、次のようになります。
 - 緑色: 撮影準備完了
 - 黄色: ピントが合いにくいとき
- 測光方式が [スポット測光] のときは、スポット測光枠を AF 枠と連動させることができます (p. 68)。
- 電源を切ると、AF 枠の位置が中央に戻ります。

ピントが合いにくい被写体を撮る (フォーカスロック、AFロック、マニュアルフォーカス)

撮影モード **AUTO**

* はお使いになれません。

以下のような被写体は、ピントが合わないことがあります。

- コントラストが極端に低い被写体
- 近いものと遠いものが混在する被写体
- 画像中央部が極端に明るい被写体
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体: できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みのない状態で撮影してください。



フォーカスロックで撮る

1 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、液晶モニター(またはビューファインダー)に表示されている AF 枠に収める

2 シャッターボタンを半押しする


3 カメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しする

AF ロックで撮る

* 、では操作できません。

1 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、AF 枠に収める




2 シャッターボタンを半押ししながら、MF ボタンを押す

- 液晶モニター(またはビューファインダー)に  と MF インジケータが表示されます。

3 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する


解除のしかた: MF ボタンを押す




- AF ロックは、シャッターボタンを放して構図を決められるので便利です。また撮影後も AF ロックされたままなので、同じピントですぐ次の撮影ができます。
-  (スティッチアシスト) は AF 枠が表示されないなので、ねらった被写体にピントが合うようにカメラを向けてください。
- ショートカットボタンに  を登録すると (p. 59)、ショートカットボタンを押すだけでフォーカスを合わせてロックし、すぐにシャッターボタンまたは動画ボタンを押して撮影できます (AF ロックすると、液晶モニター(またはビューファインダー)に  が表示されます)。



MF マニュアルフォーカスで撮る

手動でピントを合わせて撮影します。

* **AUTO**、では操作できません。

1 MFボタンを押しながら、▲▼でピントを合わせる

- **MF**とMFインジケータが表示されます。
-  (撮影)メニューの[MF拡大表示]が[入](p. 28)のときは、AF枠を中心に画像が拡大表示*されます。

*  (スティッチアシスト)、 (動画)、デジタルズームを使用しているとき、テレビに画像を表示しているときは拡大表示されません。

* 拡大表示しない設定にもできます。(p. 28)

- MFインジケータはピント位置の目安です。表示される数値を目安に撮影してください。
- ピントを合わせたあと、そのままの位置でSETボタンを押すと、そのときのピントの位置の近くから最もピントの合う位置を探して、自動的に合わせることができます。



MFインジケータ

解除のしかた:MFボタンを押す



- MFインジケータの表示単位を変更できます。(p. 32)


フォーカス設定を切り換えて撮る

撮影モード **AUTO**    **SCN***  **P Tv Av M**

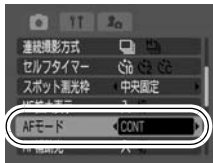
* では[SINGLE]固定となります。

AFの設定を選択します。

CONT (コンティニユアス)	シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた位置へ常にピントを合わせます。とっさのシャッターチャンスを見逃さずに撮影できます。
SINGLE (シングル)	シャッターボタンを半押ししたときだけピントを合わせます。通常はピント合わせを行わないため、消費電力を抑えることができます。

- 1  (撮影)メニュー→[AFモード]
→[CONT]*/[SINGLE]
メニュー操作(p. 27)

* 初期設定






フォーカスを自動的に変えて撮る(フォーカスブラケット撮影)

撮影モード **P Tv Av M**

マニュアルフォーカスで設定したピント位置を中心に、設定した前寄りと後ろ寄りのピント位置で自動的に3画像撮影できます。

前寄り、後ろ寄りのピント位置は、大・中・小の3段階で設定できます。

-  ● 3枚の撮影は、高速連続撮影と同じ間隔で、設定したピント位置、後ろ寄りピント、前寄りピントの順で撮影します。
連続して撮る(p. 41)

- 1 FUNC.メニュー→* (BKT-OFF) →  (Focus-BKT) → SET
ボタン

メニュー操作(p. 26)

* 初期設定



- 2 ◀▶でピント位置の変更量を設定
する

- ▶を押すと間隔が広くなり、◀を押すと狭くなって、中心に近い位置でピントを合わせます。



- 3 FUNC.ボタンを押し、マニュアルフォーカス(p. 63)
で撮影する



- ストロボ発光時はフォーカスブラケット撮影ができません。通常の1画像撮影になります。
- 連写の設定(p. 41)にかかわらず、3枚連続撮影されます。

ISO ISO感度を変更する

撮影モード **AUTO P Tv Av M**

暗いところで手ぶれを抑えたり、被写体ぶれを抑えるために、シャッタースピードを速くしたいとき、あるいはストロボをオフにして撮影したいときには、ISO感度を上げます。

1 ISOボタンを押して、切り換える

- ISOボタンを押すごとに、**ISO_{HI}** (高感度オート) → **ISO₈₀** → **ISO₁₀₀** → **ISO₂₀₀** → **ISO₄₀₀** → **ISO₈₀₀** → **ISO_{AUTO}** (画面表示しません) と切り換わります。
- オートを選ぶと、撮影時の明るさに応じて最適な感度に設定されます。暗いところでは自動的に感度が上がるため、シャッタースピードが速めになり、手ぶれが低減されます。
- **ISO_{HI}** を選ぶと、オートよりも感度が高めに設定されます。このため、シャッタースピードがより速めになり、同じシーンを撮影してもオートに比べ、より手ぶれや被写体ぶれが低減されます。オートに比べて、画像にノイズが増えることがあります。

ISO 感度の設定

	AUTO	P	Tv	Av	M
オート	○*	○*	○*	○*	—
高感度オート	○	○	—	—	—
ISO80	—	○	○	○	○*
ISO100	—	○	○	○	○
ISO200	—	○	○	○	○
ISO400	—	○	○	○	○
ISO800	—	○	○	○	○

○: 設定可 * : 初期設定

露出を固定して撮る(AEロック)

撮影モード  P Tv Av

露出とピントを別々に決めて撮影できます。被写体と背景のコントラストが極端に強いときや、逆光下での撮影などに有効です。



- ストロボは必ず  に設定し、ストロボを発光させないでください。ストロボが発光すると、AEロックが働きません。

1 露出を固定したい被写体にピントを合わせる


2 シャッターボタンを半押ししながらISOボタンを押す

- *が表示されます。

3 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた:  以外のボタンを操作する



-  のときも、AEロックの設定/解除ができます(p. 45)。
- ストロボをお使いのときは、FEロックをお使いになれます。

シャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変える

自動的に設定されたシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを、同じ露出のままで自由に変えて撮影できます(プログラムシフト)。

1 撮影モードダイヤルをP、Tv、Avのいずれかにする

2 露出を固定したい被写体にピントを合わせる

3 シャッターボタンを半押ししながら、ISOボタンを押す

- 露出が固定され、液晶モニターに *が表示されます。

4 で希望するシャッタースピードまたは絞り数値になるまで変える

5 構図を決め直して撮影する

- 撮影が終了し、設定は解除されます。

FEロックで撮る

撮影モード **P Tv Av**

被写体が構図のどこにあっても、適正な露出でストロボ撮影ができます。

1 ストロボを上げる

2 ⚡ ボタンを押して、ストロボを⚡ (常時発光) に設定する

3 露出を固定したい被写体にピントを合わせる

4 シャッターボタンを半押ししながらISOボタンを押す

- ストロボがプリ発光し、✳ が表示されます。




5 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた: ▲▼◀▶ 以外のボタンを押す

測光方式を切り換える

撮影モード **P Tv Av M**

測光方式の種類

	評価測光	画面内を多分割して測光します。被写体の位置、明るさ、背景、順光/逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、被写体を適正な露出で撮影します。
	中央部重点平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
	スポット測光	「スポット測光枠」内を測光します。
	中央固定	スポット測光枠を液晶モニター(またはビューファインダー)中央部に固定します。
	AF 枠連動	スポット測光枠を AF 枠に連動させます。

1 FUNC.メニュー→* (評価測光)/ (中央部重点平均測光)/ (スポット測光)

メニュー操作(p. 26)

* 初期設定

-   で測光方式を選び、FUNC. ボタンを押します。

スポット測光枠を AF 枠に連動させる / 中央固定にする

1 (撮影)メニュー→[スポット測光枠]→[中央固定]* / [AF 枠連動]

メニュー操作(p. 27)

- [中央固定]のときは液晶モニター(またはビューファインダー)中央にスポット測光枠が表示([])されます。AF 枠は別の位置に動かすことができます。(p. 60)
- [AF 枠連動]のときは、移動させた AF 枠にスポット測光枠が表示されます。





[] スポット測光枠
 AF 枠

* 初期設定

露出を補正する



撮影モード  SCN*  P Tv Av

*   では設定できません。

逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまったり、夜景の撮影でライトが明るすぎるようなときに、露出を補正します。

1 FUNC.メニュー→* (露出補正)

メニュー操作 (p. 26)


-   で露出を補正し、FUNC. ボタンを押します。

* 初期設定



解除のしかた: 補正値を「0」に戻す



-  (動画) のときは露出シフトの設定/解除ができます (p. 45)。

露出を自動的に変えて撮る (AEB撮影)

撮影モード  P Tv Av

撮影時の露出を中心に、設定したマイナス補正とプラス補正で自動的に3画像撮影できます。



- 3枚の撮影は、高速連続撮影と同じ間隔で、標準露出、マイナス補正、プラス補正の順で撮影します。
連続して撮る (p. 41)
- 露出補正 (p. 69) をしている場合は、その設定値を中心に補正量を設定できます。

1 FUNC.メニュー→* (BKT-OFF)→ (AEB)

メニュー操作(p. 26)

* 初期設定



2 SETボタンを押し、◀▶で露出の補正量を調整する

- 補正量は、撮影時の露出を中心に-2～+2の範囲で1/3段ずつ設定できます。





解除のしかた： (BKT-OFF)を選ぶ








- ストロボ発光時は AEB 撮影ができません。ストロボを発光して撮影した場合は、通常の1画像撮影になります。
- 連写の設定(p. 41)にかかわらず、3枚連続撮影されます。






色合いを調整する(ホワイトバランス)

撮影モード     P Tv Av M

通常は、 (オート)で最適なホワイトバランスが自動設定されます。で自然な色合いにならないときは、ホワイトバランスを変更し、撮影時の光源に合った適正な色で撮影します。

ホワイトバランスの種類

	オート	自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	くもり	曇天や日陰、薄暮
	電球	電球、電球色タイプ(3波長型)の蛍光灯
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ(3波長型)の蛍光灯

	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ(3波長型)の蛍光灯
	ストロボ	ストロボ使用時() (スポーツ)、  (動画)では設定できません)
	マニュアル	白い紙や布など白を基調としたものをカメラに記憶させ、最適な白データを取り込んでから撮影できます。

1 FUNC.メニュー→ * (オート)

メニュー操作 (p. 26)

- ◀▶ でホワイトバランスを選び、FUNC. ボタンを押します。



* 初期設定



-  ● マイカラーが  (セピア)、 (白黒) のときは設定できません (p. 72)。


マニュアルホワイトバランスを使うには

白い紙や布など、基準としたい白色をカメラに記憶させ、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定できます。

以下のような場合、 (オート) ではホワイトバランスが調整できないことがありますので、 (マニュアル) で白データを取り込んでから撮影してください。

- 至近距離(マクロ、スーパーマクロ)で撮影するとき
- 単一な色の被写体(空、海、森など)を撮影するとき
- 水銀灯などの特殊な光源で撮影するとき

1 FUNC.メニュー→ * (オート)

→  (マニュアル)

メニュー操作 (p. 26)

* 初期設定



2 白い紙や布にカメラを向け、SETボタンを押す

- 中央の枠いっぱい白い紙や布が表示されるよう構図を決めてください。



- 撮影モードを**P**にし、露出補正、ストロボ調光補正をともに±0にすることをおすすめします。適正露出でない場合(真っ黒や真っ白)は、白データを正しく取り込めないことがあります。
- 白データを取り込んだときと同じ条件で撮影してください。条件が異なると、最適なホワイトバランスが設定できないことがあります。特に以下の条件は変更しないでください。
 - ISO感度
 - ストロボ:常時発光または発光禁止にしておくことをおすすめします。オート / オート(赤目緩和)で、白データ取り込みの際にストロボが発光した場合は、撮影時もストロボを発光させてください。
- スティッチアシストでは、白データの取り込みはできません。あらかじめ他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。
- 設定したマニュアルホワイトバランスは、カメラの設定を初期設定に戻しても解除されません(p. 34)。




マイカラーで撮る

撮影モード P Tv Av M

画像の印象を変えて撮影できます。

マイカラーの種類



	マイカラー切	通常設定
	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いにする。
	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした色合いにする。
	セピア	セピア色にする。
	白黒	白黒にする。
	ポジフィルムカラー	ポジフィルムのようにナチュラルで鮮やかな色合いにする。
	色白肌*	人物の肌を色白にする。
	褐色肌*	人物の肌を褐色にする。
	あざやかブルー	青色を強調する。 空や海などの青い被写体をより鮮やかに撮影できます。

	あざやかグリーン	緑色を強調する。 山や新緑、草花、芝生などの緑の被写体をより鮮やかに撮影できます。
	あざやかレッド	赤色を強調する。 赤い花や赤い車などの赤い被写体をより鮮やかに撮影できます。
	カスタムカラー	コントラスト / シャープネス / 色の濃さを設定したり、赤 / 緑 / 青 / 肌色*のバランスを変更して撮影する。 「青色をもう少し鮮やかに」や「顔色をもう少し明るく」といった微調整ができます。

* 被写体に人物以外の肌色が含まれている場合は、その被写体の色も変更されることがあります。
 また、肌の色によっては、効果が現れない場合があります。

1 FUNC. メニュー → * (マイカラー切)

メニュー操作 (p. 26)

- ◀▶ でマイカラーモードを選びます。
-  のとき
 「カスタムカラーモードを設定する」をご覧ください (p. 74)。
-  以外するとき
 FUNC. ボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。

* 初期設定



いろいろな撮影機能



- 撮影シーンによっては、ISO感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。

カスタムカラーモードを設定する

コントラスト、シャープネス、色の濃さ、赤、緑、青、肌色の、それぞれのバランスを調整して撮影します。

1 (カスタムカラー) → SET ボタン

メニュー操作 (p. 26)



2 ▲▼で[コントラスト]、[シャープネス]、[色の濃さ]、[赤]、[緑]、[青]、[肌色]のいずれかを選び、◀▶で調整する

- 調整した結果が表示されます。



調整する項目を選ぶ

調整する

3 SET ボタンを押す

- 設定を終了します。

⚡ ストロボの自動調光設定を切り換える

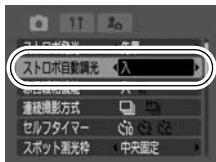
撮影モード Tv Av

内蔵ストロボは自動調光で発光されます(Mを除く)が、自動調光しないように設定することもできます。

1 [カメラ] (撮影)メニュー → [ストロボ自動調光] → [入]* / [切]

メニュー操作 (p. 27)

* 初期設定



ストロボ調光量 / 発光量を補正する

撮影モード P Tv Av M

ストロボ調光補正	<ul style="list-style-type: none">● 撮影モードが P、Tv、Av、M のとき、または Tv、Av で [ストロボ自動調光] が [入] のとき、標準調光を中心に -2 ~ +2 の範囲で 1/3 段階ずつ変更できます。● カメラの露出補正と併用することにより、背景の露出も補正したストロボ撮影ができます。
ストロボ発光量	<ul style="list-style-type: none">● 撮影モードが M、または Tv、Av で [ストロボ自動調光] が [切] のとき、ストロボの発光量をフル発光まで 3 段階で制御して撮影できます。

いろいろな撮影機能

1 FUNC.メニュー → [ストロボ調光補正] / [ストロボ発光量]

メニュー操作 (p. 26)

- ◀▶ で補正量 / 発光量を選び、FUNC. ボタンを押します。



ストロボ自動調光が [入] のとき



ストロボ自動調光が [切] のとき

ストロボ発光のタイミングを切り換える

撮影モード **P Tv Av M**

先幕	シャッタースピードにかかわらず、シャッターが開いた直後にストロボが発光します。通常はこちらで撮影します。
後幕	シャッターが閉じる直前にストロボが発光します。ストロボ発光のタイミングが先幕発光より遅くなり、車のライトが後方に流れるような画像を撮影できます。

1 (撮影)メニュー → [ストロボ発光] → [先幕]*/[後幕] メニュー操作(p. 27)



先幕設定で撮影した画像



後幕設定で撮影した画像


* 初期設定

間隔をあけて自動的に撮影する(インターバル撮影)

撮影モード **P Tv Av M**

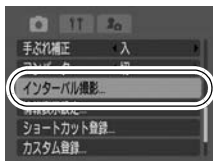
一定の間隔で自動的に撮影できます。これにより、開花する植物の観測などの定点観測ができます。設定できる撮影間隔は約1分*~約60分、撮影画像数は2*~100画像です。

* 初期設定

 ● 長時間の撮影になりますので、コンパクトパワーアダプター CA-PS700(別売)の使用をおすすめします(p. 128)。

1 (撮影)メニュー → [インターバル撮影]

メニュー操作(p. 27)



2 [撮影間隔]と[撮影枚数]→SETボタン

- ◀▶ を押し続けると、撮影間隔が5分単位または撮影枚数が5枚単位で変わります。
- 最大撮影枚数*はメモリーカードの残り容量によって決まります。

*実際に撮影した画像によっては、少なくなる場合もあります。

- メニュー画面が消え、液晶モニター(またはビューファインダー)の右下にInt.が表示されます。



3 シャッターボタンを押す

- 1枚目が撮影されインターバル撮影が始まります。
1枚撮影すると、次の撮影までは電源が切れ、液晶モニター(またはビューファインダー)が消えます(次の撮影直前に自動的に電源が入ります)。
- 設定した枚数の撮影が終わると、節電機能の設定にかかわらず電源が自動的に切れます。
- インターバル撮影の途中で以下の操作を行うと、インターバル撮影が中止されます。
 - 次の撮影を行うまでの間にモードダイヤルを変更する
 - メモリーカードスロットカバーまたはバッテリーカバーを開く
 - モードレバーを操作する
 - 電源を切る

いろいろな撮影機能



- インターバル撮影が始まってからのボタン操作は受け付けません。
- 次の撮影までの間、レンズは繰り出されたままとなりますのでご注意ください。
- 撮影直後、液晶モニター(またはビューファインダー)に撮影画像は表示されません。
- [日付/時刻]が設定されていないときインターバル撮影はできません。
- 連続撮影、AEB、フォーカスブラケットは設定できません。
- セルフタイマー撮影は最初の1枚のみできます。

C カスタム登録する

撮影モード **P Tv Av M C**

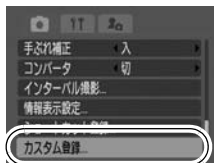
よく使う撮影モードや撮影時のさまざまな設定を、あらかじめ**C**(カスタム)に登録しておくことができます。必要なときにモードダイヤルを**C**に合わせるだけで、事前に登録した設定内容で撮影できます。他の撮影モードに切り換えたり、電源を切ると解除されてしまう設定(連続撮影、セルフタイマーなど)も保持されます。

1 登録したい撮影モードにして内容を設定する


- **C**に登録した設定の一部(撮影モード以外)を変更するときは、**C**を選びます。
- **C**に登録できる機能
 - 撮影モード(**P**、**Tv**、**Av**、**M**)
 - **P**、**Tv**、**Av**、**M**で設定可能な項目(p. 151)
 - 撮影メニューの設定内容
 - ズーム位置
 - マニュアルフォーカス位置

2 (撮影)メニュー→[カスタム登録]

メニュー操作(p. 27)




3 [OK]→SETボタン

-  ● 設定内容は、他の撮影モードには反映されません。
- 登録内容をリセットできます(p. 34)。

縦横自動回転の設定をする

撮影モード **AUTO**     SCN  **P** Tv Av M




再生モード 

このカメラにはSI(Super Intelligent)センサーが装備されており、縦位置で撮影した画像は、再生時に正しい縦位置に回転して表示されます。

1 (設定)メニュー→[縦横自動回転]→[入]*/[切]


メニュー操作(p.27)



- 液晶モニター(またはビューファインダー)の[撮影情報]設定が[入](✓あり)のとき、縦横自動回転を[入]にすると、 (通常)、 (右が下)、 (左が下)が表示されます。

*初期設定




- カメラを真上や真下に向けて撮影すると、正しく機能しない場合があります。アイコン()を確認し、正しく天地を判断しない場合は、[切]にしてお使いください。
- 縦横自動回転の設定が[入]のときに縦位置で撮影した画像をパソコンに取り込む場合、取り込み使用するソフトウェアによっては、回転結果が反映されないことがあります。



- このカメラは、SIセンサーにより縦位置で構えて撮影する場合、上側を「天」、下側を「地」と判断し、縦位置に最適なフォーカス、露出、ホワイトバランス制御を行います。この機能は縦横自動回転の入/切に関係なく有効です。
- 撮影モードと再生モードで個別に設定できます。
 - 撮影モードで[入]に設定したときは、撮影した画像に縦横方向が記憶されますので、再生時には撮影時のカメラの向きに応じて、自動的に画像の縦横が切り換わります。
 - 再生モードで[入]に設定したときは、再生時のカメラの向きに応じて、画像の天地を正しく液晶モニター(またはビューファインダー)に表示します。

画像の保存先(フォルダ)を作成する

撮影モード **AUTO**     SCN   P Tv Av M

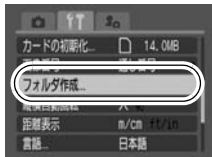
再生モード 

任意のタイミングで新しいフォルダを作成できます。撮影した画像は、そのフォルダ内に自動的に保存されます。

新規作成	次回撮影時に新しいフォルダを作成します。また新しいフォルダを作成したい場合には、再度チェックマークをつけてください。
自動作成	指定した日時以降の撮影時に新しいフォルダを作成します。撮影した画像を日ごと、週ごと、月ごとに保存できます (p. 81)。


1 (設定)メニュー→[フォルダ作成]

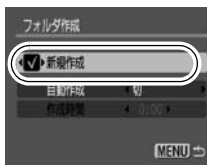
メニュー操作(p. 27)



次回撮影時にフォルダを作成する

2 ◀▶ で[新規作成]にチェックマークをつける→MENUボタン

- 液晶モニター(またはビューファインダー)に  が表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。

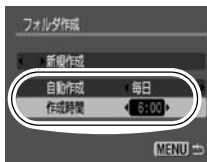


指定した日時にフォルダを作成する

2 [自動作成]で作成日を選び、[作成時間]で時刻を設定する

→MENUボタン

- 指定した時間になると、液晶モニター（またはビューファインダー）に☑が表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。



- ひとつのフォルダに2000画像まで保存されます。新規にフォルダを作成しなくても、2000画像を超えると、新しいフォルダが自動的に作成されます。

画像番号をリセットする

撮影モード **AUTO**

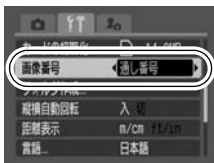
再生モード

撮影した画像には、自動的に画像番号がつきます。その画像番号の設定方法を選択します。

1 (設定)メニュー→[画像番号] →[通し番号]*¹/[オートリセット]

メニュー操作(p. 27)

*1 初期設定



画像番号リセット機能について

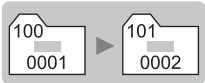
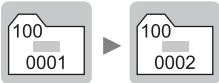
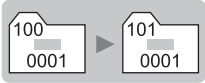
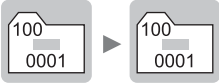
通し番号	最後に撮影した画像の続き番号が次の画像につけられます。そのため、フォルダを変更したり、メモリーカードを交換* ² したりしても、画像番号が重複しないので、パソコンで画像をまとめて管理する場合に便利です。
オートリセット	フォルダ番号、画像番号ともに初期値(100 - 0001)に戻ります* ² 。そのため、フォルダ単位で管理する場合に便利です。

*2 新規のメモリーカードに交換時。記録済みのメモリーカードを入れたときは、最後に撮影した画像のフォルダ番号と画像番号を合わせた7桁の番号を比べ、大きい方の番号を引き継ぎます。

画像番号およびフォルダ番号について

撮影した画像には、0001～9999までの画像番号が割り振られ、各フォルダには、100～999までの番号が割り振られます。

ひとつのフォルダには、2000画像ずつ保存されます。

	フォルダを 新規に作成した場合	他のメモリーカードに 交換した場合
通し番号	メモリーカード 1 	メモリーカード 1 メモリーカード 2 
オート リセット	メモリーカード 1 	メモリーカード 1 メモリーカード 2 


- 次の設定で撮影した画像は、必ずひとつのフォルダに保存されるため、2000画像に満たなくても、十分な空きがない場合には、新しいフォルダに保存される場合があります。
 - 連続撮影
 - セルフタイマー(📷 (カスタム)の場合)
 - 動画(動画中静止画)
 - ステッチアシスト
 - 静止画のワンポイントカラー/スイッチカラー
([オリジナル保存]が[入]の場合)
 - フォーカスブラケット撮影
 - AEB 撮影
- 同じフォルダ番号や、フォルダ内に同じ画像番号が複数あるときは、再生できません。
- フォルダの構造や画像のタイプについては、ソフトウェアクイックガイドでご確認ください。

再生 / 消去する

基本編(p. 14)もご確認ください。

🔍 拡大して見る


1 ズームレバーを 🔍 側に回す


- **SET**  が表示され、拡大表示になります。
- ズームレバーで倍率を変更できます。
- 画像を最大約 10 倍まで拡大して表示できます。




表示位置の目安

2 ▲▼または◀▶で表示位置を変更する

- 拡大再生中に SET ボタンを押すと、画像送りモードになり、**SET**  が表示されます。◀▶で拡大したまま前または次の画像を表示できます。再度 SET ボタンを押すと、画像送りモードを解除します。

解除のしかた: ズームレバーを  側に回す (MENU ボタンを押すと、すぐに解除できます)

-  動画、インデックス再生時は、拡大表示できません。

9画面ずつまとめて見る(インデックス再生)

1 ズームレバーを 側に回す


- 9画像ずつ表示されます。
- ▲▼または◀▶で選択画像を切り換えます。



選択画像

動画

9 画像ずつ表示を切り換える

インデックス再生中にズームレバーを  側に回すと、ジャンプバーが表示され、9 画像ずつ表示の切り換えができます。

- ◀▶ で前または次の 9 画像を表示します。
- SET ボタンを押しながら ▶▶ を押すと、最初または最後の 9 画像を表示します。








ジャンプバー

解除のしかた:ズームレバーを  側に回す

目的の画像にジャンプする

メモリーカードにたくさんの画像を記録しているときは、次の 5 つの検索キーでジャンプしながら目的の画像を探し出すと便利です。

	10 枚ジャンプ	画像を 10 枚ずつ飛ばして表示する
	100 枚ジャンプ	画像を 100 枚ずつ飛ばして表示する
	日付ジャンプ	各撮影日の先頭画像を表示する
	動画ジャンプ	動画を表示する
	フォルダジャンプ	各フォルダの先頭画像を表示する

1 シングル再生時に、目的ボタンを押す

- 検索ジャンプモードになります。
- 検索キーによって、画面例は若干異なります。



現在表示中の画像位置

検索キーに合致した画像数

2 ▲▼で検索キーを選び、◀▶を押す

解除のしかた:MENUボタンを押す

動画を見る



●インデックス再生時は、動画は再生できません。

1 動画を表示し、SET ボタンを押す

- **SET** 画の表示されている画像が動画です。



動画再生パネル

スピーカー音量
(▲▼で調節)

2 (再生)を選び、SET ボタンを押す

- 再生中に SET ボタンを押すと、再生が一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
- 再生が終了すると、最終フレームが表示されたままで停止します。SET ボタンを押すと、動画再生パネルが表示されます。

動画再生パネルの操作

	終了(シングル再生に戻る)
	動画の印刷(プリンター接続時にアイコンが表示されます。詳細はダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。)
	再生
	スロー再生(スロー再生の速度は、◀で遅く、▶で速くできます。)
	先頭フレームを表示
	フレーム戻し(SET ボタンを押し続けると早戻しします。)
	フレーム送り(SET ボタンを押し続けると早送りします。)
	最終フレームを表示
	編集(動画編集モードに切り換えます。)(p. 86)



- テレビで動画を再生するときの音量は、テレビで調節してください(p. 103)。
- スロー再生中、音声は再生されません。

動画を編集する

撮影した動画の一部を削除できます。



- プロテクトされている動画、撮影時間が1秒未満の動画は編集できません。

1 動画再生パネルの (編集) を選び、SET ボタンを押す

- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。


動画編集パネル



動画編集バー

カウンター

2 ▲▼ で (前部を削除) または (後部を削除) を選び、 ◀▶ で削除する位置 (▼) を指定する

- 仮編集した動画を確認するときは、▶ (再生) を選んで SET ボタンを押します。
-  (終了) を選ぶと動画編集を中止し、動画再生パネルに戻ります。

3 (保存) を選び、SET ボタンを押す

4 [新規保存] または [上書き保存] を選び、SET ボタンを押す

- [新規保存]: 新しいファイル名をつけて保存します。編集前のデータは残ります。保存中に SET ボタンを押すと、保存を中止できます。
- [上書き保存]: 編集前の画像と同じファイル名で保存されます。編集前のデータは残りません。
- メモリーカードの空き容量が足りないときは、上書き保存しかできません。このとき、動画編集バーのカウンターに ▲ が表示されます。





- 編集した動画を新規保存するとき、約3分かかることがあります。途中で電池がなくなると、編集した動画が保存できないことがありますので、動画を編集するときは別売の、フル充電の単3形ニッケル水素電池またはコンパクトパワーアダプター CA-PS700(別売)をお使いになることをおすすめします(p. 128)。

回転して表示する

時計方向に90度、270度に回転して表示します。

元画像



90度

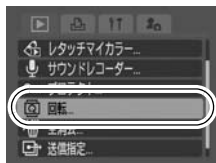


270度



1 (再生)メニュー →

メニュー操作(p. 27)



2 ◀▶ で回転する画像を選び、SETボタンを押す

- SETボタンを押すごとに、90度→270度→元画像が表示されます。
- インデックス再生にしても設定できます。





再生 / 消去する



- 動画は回転できません。
- カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

効果をつけて再生する

画像の切り換え時に使用する効果を選択できます。

Off	通常表示
	表示中の画像が暗くなり、次の画像が徐々に明るく表示されます。
	◀ ボタンを押すと左側から前の画像が、▶ ボタンを押すと右側から次の画像が表示されます。


1 (再生)メニュー →

→ Off /  * / 

メニュー操作 (p. 27)


* 初期設定



-  ● 画像の読み出し中に次の画像に切り換えたときは、効果は表示されません。

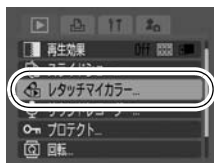
レタッチマイカラーで効果をつける

撮影した画像に、レタッチマイカラーで効果をつけることができます(静止画のみ)。レタッチマイカラーの種類は次のとおりです。効果の詳細はp. 72 をご覧ください。

	くっきりカラー		色白肌
	すっきりカラー		褐色肌
	セピア		あざやかブルー
	白黒		あざやかグリーン
	ポジフィルムカラー		あざやかレッド

1 (再生)メニュー →

メニュー操作 (p. 27)



2 ◀▶で効果をつける画像を選び、SETボタンを押す



3 ◀▶で効果をつきたいタッチマイカラーの種類を選び、SETボタンを押す

- タッチマイカラーで効果をつけた画像が表示されます。
- ズームレバーをQ側に回すと、拡大して確認できます。拡大表示中は、SETボタンでタッチマイカラーで効果をつけた画像と、効果がない元画像の切り換えができます。



4 [OK]を選び、SETボタンを押す

- 新規に保存されたタッチマイカラーで効果をつけた画像は、撮影した画像のいちばん最後に保存されます。
- 引き続き、他の画像に効果をつきたい場合は、手順2から操作を繰り返します。



5 MENUボタンを押し、[はい]または[いいえ]を選んでSETボタンを押す

- [はい]の場合はタッチマイカラーで効果をつけた画像が表示され、[いいえ]の場合は再生メニューに戻ります。



再生／消去する



- メモリーカードの空き容量によっては、タッチマイカラーで効果をつけることができません。
- タッチマイカラーで効果をつけた画像に、何度でもタッチマイカラーで効果をつけることができますが、画質は徐々に低下したり、思いどおりの色にならないことがあります
- マイカラーで撮影した画像(p. 72)と、再生時にタッチマイカラーで効果をつけた画像は、画像の色味が若干異なる場合があります。

🎤 音声メモをつける

画像の再生中(シングル再生、インデックス再生、拡大再生、撮影直後の画像表示中)に最長 1 分の音声メモをつけることができます。音声データは WAVE タイプ(ステレオ)で保存されます。

1 画像再生中に🎤 ボタンを押す

音声メモパネルが表示されます。

2 ◀▶で🗄(録音)を選び、SET ボタンを押す

- 録音時間と録音可能時間が表示されます。
- SET ボタンを押すと録音を一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
- 1 画像につき、合計が1分に達するまで何度でも音声メモを追加できます。
- 音声モードを変更できます(p. 49)。



音声メモパネル
録音時間/録音可能時間

音量 (▲▼で調節)

音声メモパネルの操作

	終了(設定を終了します)
	録音
	停止
	再生
	消去 表示される画面で[消去]を選び、SET ボタンを押します。



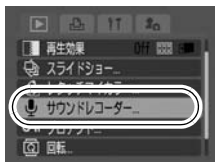
- 動画には音声メモをつけられません。
- プロテクトされている画像の音声メモは消去できません (p. 96)。

音声だけを記録する(サウンドレコーダー)

画像を記録せず、音声だけを1回あたり最大2時間までステレオ録音できます。

1 (再生)メニュー→

メニュー操作(p. 27)



2 音声操作パネルから◀▶で (録音)を選び、SETボタンを押す

- 録音が始まり、録音時間が表示されます。
- 音声モードを変更できます (p. 49)。
- SETボタンを押すと録音を停止します。再度ボタンを押すと新しく録音が始まります。
シャッターボタンを半押しする、または動画ボタンを押しても録音を停止します。



再生 / 消去する

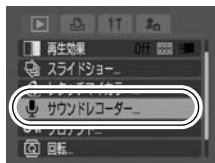


- 最大記録時間は、メモリーカードの空き容量や音声モードによって異なります。
- メモリーカードの容量がいっぱいになると、そこで録音を終了します。
- 再生モードでボタンを押し続けても、音声操作パネルを表示できます。

音声を再生する

1 [再生]メニュー→

メニュー操作 (p. 27)



2 ▲▼で再生したい音声を選び、 ◀▶で▶(再生)を選んで、 SETボタンを押す

音声再生されます。

🔄 (終了): 再生メニューに戻ります。

🔴 (録音): 音声を録音します。

▶ (再生): 音声を再生します。

◀◀ (早戻し): SETボタンを押し続けると後ろに戻ります (音声は出ません)。

▶▶ (早送り): SETボタンを押し続けると先に進みます (音声は出ません)。

👉 (消去): SETボタンを押し、◀▶で[消去]を選んでSETボタンを押すと、選択中の音声が消去されます。[全消去]を選んでSETボタンを押すと、確認画面が表示されます。◀▶で[OK]を選び、SETボタンを押すと、プロテクトされていないすべての音声が消去されます。

🔒 (プロテクト): SETボタンを押すと、選択中の音声がプロテクト(保護)され、消去できなくなります (🔒アイコンが表示されます)。もう一度SETボタンを押すと解除されます。

🔊 (音量): ▲▼で音量を調整できます。

- [(設定)]メニューの[音量]でも再生音量の調整ができます (p. 31)









● 音声番号およびフォルダ番号については、ソフトウェアクイックガイドでご確認ください。

画像を自動再生する(スライドショー)

メモリーカード内の画像を自動再生します。

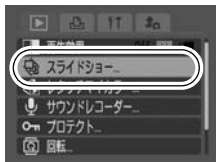
*スライドショーの画像指定は、DPOF (Digital Print Order Format) に準拠しています (p. 98)。

スライドショーの種類

	全画像	メモリーカード内のすべての画像を順に再生します。
	日付	指定した日付の画像を順に再生します。
	フォルダ	指定したフォルダ内の画像を順に再生します。
	動画	動画のみを順に再生します。
	静止画	静止画のみを順に再生します。
	カスタム1～ カスタム3	カスタム1～3でマークされている画像を順に再生します (p. 95)。




1 (再生)メニュー →

メニュー操作 (p. 27)



再生 / 消去する

2 、、、、、のいずれかを選ぶ

- 、 のとき: 再生する日付、またはフォルダを選びます (p. 94)。
-  のとき: 再生する画像を選びます (p. 95)。
- 効果をつけて再生する場合は、▲で[効果]を選び、◀▶で種類を選びます (p. 94)。






3 [スタート]→SETボタン

- 自動再生中は、次のことができます。
 - スライドショーの一時停止 / 再開:
SETボタンを押す
 - 画像の送り/戻し: ◀▶を押す(ボタン
を押し続けると早く進みます。)
 - スライドショーの中止: MENUボタ
ンを押す



効果の種類

画像の切り換え時に使用する効果を選択できます。

Off	通常表示
 *	次の画像が徐々に明るくなりながら、画面の下から上方向に表示されます。
	初めに十字型に画像が表示され、徐々に画像全体が表示されます。
	画像の一部が横方向に動きながら、徐々に画像全体が表示されます。

* 初期設定



- シングル再生時(静止画表示中)、SETボタンを押しながら
◀▶ボタンを押すと、表示中の画像からスライドショーを開始
できます。なお、最後に撮影した画像を表示中のときは、その画像
と同じ日付の先頭の画像から開始されます。

再生する日付 / フォルダを選ぶ(🗒️、📁)

1 🗒️または📁を選ぶ→SETボタン

2 ▶◀で再生する日付またはフォルダを選ぶ→MENUボタン



日付



フォルダ

再生する画像を選ぶ(1~3)

スライドショーで再生したい画像だけをマークし、[カスタム1]から[カスタム3]に保存します。最大998画像まで指定でき、選択した順番に自動再生されます。

1 1~3のいずれかを選ぶ→SETボタン

- 初めは、1だけが表示されます。1を設定すると、表示が14に変わり、2が表示されます。2 3も、同じように表示が変わっていきます。

2 ◀▶で再生する画像を選び、SETボタンで選択または選択を解除する

- インデックス再生にしても選択できます。
- MENUボタンを押すと、設定を終了します。

選択を表すチェックマーク
選択順の番号



- すべての画像を指定するとき

1. 手順1 (p. 95) で、1~3のいずれかを選んだ後、▲で[全画像]を選び、SETボタンを押す
 2. ▲で[全画像指定]を選び、SETボタンを押す
 3. ▶で[OK]を選び、SETボタンを押す
- 設定後に解除する場合には、[リセット]を選びます。

再生間隔やリピート設定をする

- 再生間隔

スライドショーで1 画像を表示する時間を指定します。3*~10 秒、15 秒、30 秒を指定できます（画像によって再生間隔は多少異なります）。

*初期設定

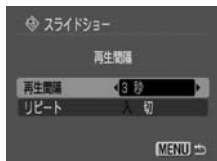
- リピート

スライドショーが一巡したら終了するか、繰り返し再生するかを設定します。

1 [設定]→SETボタン

2 [再生間隔]または[リピート]を選び、設定したい内容を選ぶ

- MENUボタンを押すと、設定を終了します。

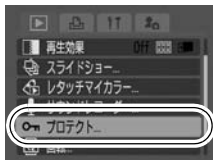


画像をプロテクト(保護)する

大切な画像を誤って消去しないように、プロテクトを設定できます。

1 [再生]メニュー→

メニュー操作(p. 27)



2 ◀▶でプロテクトしたい画像を選び、SETボタンを押す

- 再度 SET ボタンを押すと設定を解除できます。
- インデックス再生にしても設定できます。



プロテクト

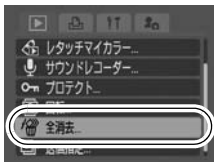
メモリーカードを初期化(p. 35)すると、プロテクトした画像も消去されます。メモリーカードを初期化するときは、メモリーカード上の記録内容を十分に確認してから行ってください。

全画像を消去する

- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- プロテクトされている画像は消去できません。

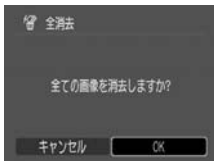
1 [再生]メニュー→

メニュー操作(p. 27)



2 [OK]→SETボタン

- 全消去を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。



- 画像データだけでなく、メモリーカードの記録内容をすべて消去したいときは、メモリーカードを初期化してください(p. 35)。

印刷指定 / 送信指定する

DPOFの印刷指定

メモリーカードに記録されている画像の中から、印刷する画像や枚数をあらかじめカメラ側で指定できます。なお、この指定は、DPOF(Digital Print Order Format)に準拠しています。カメラダイレクト対応プリンターに一括して印刷するときや、プリント取り扱い店に注文するとき大変便利です。

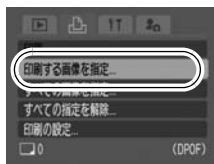
DPOF 対応の他のカメラで印刷指定されたメモリーカードの場合、▲が表示されることがあります。このカメラでそれらの印刷指定を変更すると、設定済みの印刷指定は、すべて書き換えられません。

1 画像ずつ指定する

1 (再生)モード → (印刷)メニュー → [印刷する画像を指定]

×メニュー操作(p. 27)

- [すべての指定を解除]を選ぶと、画像の印刷指定をすべて解除します。



2 ◀▶ で印刷する画像を選ぶ

- 印刷タイプの設定(p. 100)によって異なります。
 - スタンダード(■)/両方(■ ■)画像を選び、SETボタンを押して▲▼で印刷枚数を指定します(最大99枚まで)。
 - インデックス(■)
- 画像を選び、SETボタンで指定、指定解除を行います。
- インデックス再生にしても設定できません。
- プリンターに接続されている場合、画像の指定中に▶◀ボタンが青色に点灯します。このとき、▶◀ボタンを押して、[印刷]が選択されていることを確認し、SETボタンを押すと、印刷が開始されます。

印刷枚数表示



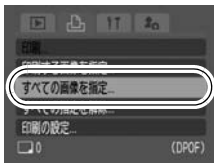
インデックス印刷の選択



メモリーカード内のすべての画像を指定する

1 [再生]モード▶ [印刷]メニュー▶ [すべての画像を指定]

- すべての画像に対して1枚ずつ印刷指定されます。
- [すべての指定を解除]を選ぶと、画像の印刷指定をすべて解除します。
- プリンターに接続されている場合、SETボタンを押した後▶◀ボタンが青色に点灯します。このとき、▶◀ボタンを押して、[印刷]が選択されていることを確認し、SETボタンを押すと、印刷が開始されます。



2 [OK]▶ SETボタン



- プリンターまたはプリント取り扱い店によっては、指定内容が反映されないことがあります。
- 動画は印刷指定できません。



- 画像番号の順に印刷されます。
- 最大998画像まで指定できます。
- [印刷タイプ]が[両方]の場合、印刷枚数は指定できますが、[インデックス]の場合は指定できません。[インデックス]は1枚のみ印刷されます。

印刷スタイルを設定する

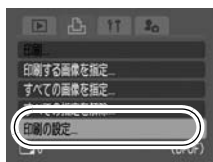
印刷スタイルを設定してから、印刷する画像を選んでください。
次の内容を設定できます。

*初期設定

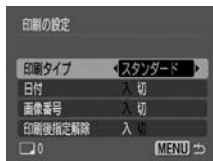
印刷タイプ	<input checked="" type="checkbox"/> スタンダード*	用紙1枚に1画像を印刷します。
	<input checked="" type="checkbox"/> インデックス	画像を縮小してインデックス形式で印刷します。
	<input checked="" type="checkbox"/> 両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷します。
日付(入/切*)		日付を入れて印刷します。
画像番号(入/切*)		画像番号を入れて印刷します。
印刷後指定解除(入*/切)		印刷後、画像の印刷指定をすべて解除します。

1 (再生)モード → (印刷)メニュー → [印刷の設定]

メニュー操作(p. 27)



2 [印刷タイプ]、[日付]、[画像番号]、[印刷後指定解除]のいずれかを選び、設定したい内容を選ぶ





- 印刷タイプによって、日付と画像番号の設定は次のようになります。ただし、お使いのプリンターによって、印刷できる情報が異なることがあります。
 - [インデックス]のとき
[日付]と[画像番号]を同時に設定できません。
 - [スタンダード]または[両方]のとき
[日付]と[画像番号]を同時に[入]に設定できます。
- 日付を写し込んだ画像を印刷する場合、DPOF の印刷指定で日付を入れる設定をしないでください。日付が重複して印刷されます。
- 日付は、[日付/時刻]で設定した日付スタイルで印刷されます (p. 31)。

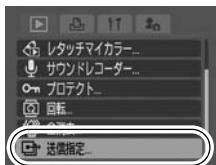
DPOFの送信指定

パソコンに取り込む画像をあらかじめカメラ側で指定できます。パソコンへの送信方法は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。なお、この指定は、DPOF (Digital Print Order Format) に準拠しています。

DPOF 対応の他のカメラで送信指定されたメモリーカードの場合、▲が表示されることがあります。このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。

1 (再生)メニュー →

メニュー操作 (p. 27)



1 画像ずつ指定する

2 [画像指定] → SET ボタン

- [リセット]を選ぶと、送信指定をすべて解除します。



3 ◀▶ で送信する画像を選ぶ

→ SET ボタン

- 再度SETボタンを押すと選択を解除できます。
- インデックス再生(p. 83)にしても設定できます。

送信画像の選択



メモリーカード内のすべての画像を指定する

2 [全画像]を選び、SETボタンを押す

- [リセット]を選ぶと、送信指定をすべて解除します。



3 [OK]を選び、SETボタンを押す

- 画像番号の順に送信されます。
- 最大998画像まで指定できます。

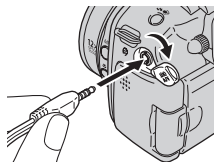
テレビを使って撮影／再生する

付属のステレオビデオケーブル STV-250N をお使いいただくと、テレビに画像を表示して撮影や再生ができます。ビデオ出力方式は、日本国内で採用している NTSC 方式が初期設定になっています。

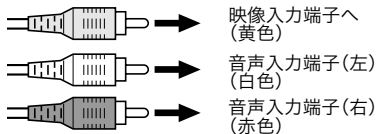
1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラの A/V OUT 端子にステレオビデオケーブルを接続する

- 端子カバーの左側に爪をかけて手前に開き、AVケーブルを奥まで差し込みます。



3 テレビの映像入力端子と音声入力端子にステレオビデオケーブルを接続する



4 テレビの電源を入れ、入力切り換えをビデオ入力にする

5 カメラの電源を入れる




- ビデオ出力方式の設定方法(p. 32)

カメラを自分好みにする(マイカメラ機能)

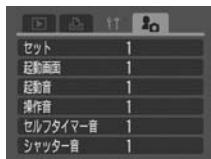
カメラの起動画面や起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を「マイカメラコンテンツ」と呼びます。これらを変更したり登録して、カメラを自分好みの設定に変えることができます。

マイカメラコンテンツを変更する

1 モード (マイカメラ)

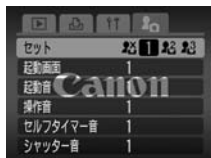
メニュー  メニュー項目

メニュー操作 (p. 27)





2 で設定したいコンテンツを選ぶ

- すべて同じコンテンツに設定したいときは、[セット]を選びます。



マイカメラコンテンツを登録する

各コンテンツの   には、メモリーカードに記録してある画像や新たに録音した音声を、マイカメラコンテンツとしてその場ですぐに登録できます。また、付属のソフトウェアを使うと、パソコンにある画像や音声、CANON iMAGE GATEWAY からダウンロードしたコンテンツをカメラに登録することもできます。



- マイカメラコンテンツを初期設定に戻すには、パソコンが必要です。付属のソフトウェア (ZoomBrowser EX/Image Browser) を使い、初期設定のコンテンツをカメラに登録してください。

- 1 **▶** モード → **📷** (マイカメラ) メニュー → 登録したいメニュー項目
メニュー操作 (p. 27)



- 2 **📷** または **📷** を選び、DISP. ボタンを押す



- 3 登録したい画像を選択、または音声を録音する

● 起動画面

◀▶ で登録したい画像を選んで、SET ボタンを押します。



● 起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音

☐ (録音) を選び、SET ボタンを押します。録音後、**📷** (登録) を選び、SET ボタンを押します。

- 録音時間が経過すると、自動的に録音が終了します。

- 再生するときは、**▶** (再生) を選びます。

- マイカメラメニューに戻るときは、**📷** (終了) を選びます。



カメラを自分好みにする

4 [OK]を選び、SETを押す

- 登録を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。



- 以下は、マイカメラコンテンツに登録できません。

- 動画

- 音声メモ機能(p. 90)やサウンドレコーダー(p. 91)で録音した音声

- 新しいマイカメラコンテンツを登録すると、以前に登録されていたコンテンツは消去されます。



- マイカメラコンテンツの登録、作成についての詳細は、付属のソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

こんなときには

カメラ全般

カメラが動作しない

電源が入っていません。	● 電源を入れてください(基本編 p. 3)。
メモリーカードスロットカバーまたはバッテリーカバーが開いています。	● メモリーカードスロットカバーまたはバッテリーカバーがしっかりと閉じていることを確認してください(基本編 p. 1)。
電池が逆向きに入っています。	● 電池を、正しい方向で入れ直してください(基本編 p. 1)。
不適切な電池が入っています。	● 未使用の単3形アルカリ電池またはキヤノン製の単3形ニッケル水素電池を入れてください(基本編 p. 1)。
電池の電圧が足りません(「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されます)。	● 未使用の電池、または十分に充電された充電電池に4本とも交換してください。(基本編 p. 1)。 ● コンパクトパワーアダプターを使用してください(p. 128)
カメラと電池の接触不良です。	● 電池の電極を乾いたきれいな布で拭いてください(p. 121)。 ● 電池を数回入れ直してください。

カメラ内部で音がする

カメラの縦・横の向きが変わりました。	● カメラの向きを検出する機構が働いています。カメラの故障ではありません。
--------------------	---------------------------------------

電源を入れたとき

「ライトプロテクト」が表示された

SDメモリーカードの「ライトプロテクト(書き込み禁止)」スイッチが、「書き込み禁止」になっています。

- 書き込み、消去、初期化したいときは、スイッチを上からスライドしてください(p. 122)。

日付 / 時刻の設定画面が表示された

コイン型のリチウム電池の容量がなくなっています。

- コイン型リチウム電池を交換してください(p. 124)。

液晶モニター/ビューファインダー

表示が黒くなる

太陽や強い光が当たると黒くなることがあります。

- これはCCD特有の現象で、カメラの故障ではありません(動画にはこの画像が記録されますが、静止画には記録されません)。

画面がちらつく

蛍光灯の下で撮影しています。

- カメラの故障ではありません(動画には記録されますが、静止画には記録されません)。

赤紫などの帯が縦に表示された

被写体が極端に明るすぎます。

- これはCCD特有の現象で、カメラの故障ではありません(動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません)。

📷が表示された

光量不足で、シャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。

- 手ぶれ補正機能を[切]以外に設定してください(p. 38)。
- ISO感度を上げるか(p. 65)、ストロボを上げて📷(発光禁止)以外に設定するか、または三脚などでカメラを固定してください。(基本編 p. 11)

▲が表示された

DPOF 対応の他のカメラで、印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像を指定されたメモリーカードです。

- このカメラでそれらの印刷指定、送信指定またはスライドショーの指定を変更すると、設定内容は、すべて書き換えられますので、ご注意ください(p. 93、p. 98、p. 101)。

ノイズが表示される / 被写体の動きがぎこちない

暗い場所で撮影する場合、液晶モニター(またはビューファインダー)を見やすくするために、カメラが映し出される画像を自動的に明るくしました(p. 19)。

- 記録される画像に影響はありません。

撮影のとき


撮影できない

再生モード、またはパソコン接続 / プリンター接続モードになっています。

- モードレバーを左に回す、またはシャッターボタンを半押しして、撮影モードに切り換えてください。
- パソコン接続 / プリンター接続モード時は、インターフェースケーブルを抜いてから撮影モードに切り換えてください。


ストロボが充電中です。(液晶モニター/ビューファインダーの📷が白で点滅表示)

- 充電が完了すると、液晶モニター/ビューファインダーの📷の点滅が点灯に変わり、撮影できます。


<p>メモリーカードの空き容量がありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しいメモリーカードを入れてください (基本編 p. 1)。 ● 必要であれば、カードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
<p>メモリーカードが正しく初期化されていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● メモリーカードを初期化してください (p. 35)。 ● メモリーカードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。キヤノンのお客様相談センターにお問い合わせください。
<p>SDメモリーカードがライトプロテクト(書き込み禁止)されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチを上スライドしてください (p. 122)。
<p>画像がぼやけている、ピントが合いにくい</p>	
<p>AF 補助光が[切]になっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 暗い場所などでピントが合いにくいとき、AF 補助光が光ってピントを合いやすくします。AF 補助光が[切]だと機能しないので、[入]にして、AF 補助光を発光させてください (p. 28)。このとき、AF 補助光投光部に手がかからないように注意してください。
<p>シャッターボタンを押したとき、カメラが動いていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 手ぶれ補正機能を[切]以外にしてください (p. 38)。 ● ISO 感度を上げてシャッタースピードが速くなるようにしてください。 ● セルフタイマーを  (2秒タイマー) に設定すると、シャッターボタンを押した2秒後に撮影されるので、カメラのぶれを防ぐことができます (p. 42)。 ● カメラを固定した台の上に置いたり、三脚を使用してください。
<p>被写体がピントの合う範囲から外れています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 正しい撮影距離範囲内に被写体を収めて撮影してください (p. 136)。

ピントが合いにくい被写体です。	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスロック、AF ロックまたはマニュアルフォーカスで撮影してください (p. 61)。
-----------------	--

撮影した画像の被写体が暗すぎる

撮影時の光量が不足しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● ストロボを上げて、 (常時発光) にしてください (基本編 p. 11)。
周辺部分が明るすぎるため、ねらった被写体の露出がアンダー (露出不足) になっています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 露出補正値をプラス側に設定してください (p. 69)。 ● AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください (p. 66、p. 67)。
被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	<ul style="list-style-type: none"> ● ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ撮影範囲内に被写体を収めて撮影してください (p. 137)。 ● ISO 感度を上げて撮影してください (p. 65)。






撮影した画像の被写体が明るすぎる、または白飛びする

被写体が近すぎてストロボ光が強すぎます。	<ul style="list-style-type: none"> ● ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ撮影範囲内に被写体を収めて撮影してください (p. 137)。
周辺部分が暗すぎるため、ねらった被写体の露出がオーバー (露出過多) になっています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 露出補正値をマイナス側に設定してください (p. 69)。 ● AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください (p. 66、67)。
照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 被写体に対するカメラの角度を変えてください。
ストロボが「常時発光」になっています。	<ul style="list-style-type: none"> ● ストロボを下げて、 (発光禁止) にしてください (基本編 p. 11)。

こんなときには

画像にノイズがある

ISO 感度が高すぎます。

- 高いISO 感度や  (高感度オート) を選ぶと、画像にノイズが増えることがあります。画質を優先させる場合には、なるべく低い感度を選んでください(p. 65)。
- SCNモードの、、、、 では、ISO 感度が上がり、ノイズが発生しやすくなります。


画像に白い点などが写る

ストロボ撮影時に空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。特にワイド側で撮影したときに、目立ちやすくなります。

- デジタルカメラ特有の現象でカメラの故障ではありません。

目が赤く写る

暗い所でストロボを発光したため、ストロボの光が目反射しました。

-  (赤目緩和) で撮影してください(基本編 p. 11)。写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るよう声をかけてください。
- 「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」とより効果があります。

連続撮影速度が遅くなった

メモリーカードの性能が低下しました。

- 連続撮影の性能を十分に発揮するため、撮影した画像をパソコンに保存してから、カメラでメモリーカードを初期化することをおすすめします(p. 35)。

メモリーカードへの画像の記録時間が長い

違う機器で初期化したメモリーカードが入っています。

- このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください(p. 35)。

レンズが出たまま収納されない

電源を入れたまま、メモリーカードスロットカバーまたはバッテリーカバーを開けました。	● メモリーカードスロットカバーまたはバッテリーカバーを閉じた後、電源を入れてからもう一度切ってください(基本編 p. 1)。
インターバル撮影中です。	● 設定枚数まで撮影したら、自動的にレンズが収納されます。
撮影モードから再生モードに切り替えました。	● この場合はレンズが収納されません。レンズを収納する場合は、もう一度モードレバーを左に回してください。

動画撮影のとき

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

以下のようなメモリーカードをお使いです。 - 書き込み速度が遅い - 他のカメラやパソコンで初期化した - 撮影 / 消去を繰り返した	● 撮影時間が正しく表示されないときも、メモリーカードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。メモリーカードをこのカメラで初期化すると、正しい時間が表示されます(書き込み速度の遅いメモリーカードを除く)(p. 35)。
--	---

液晶モニターに「バッファ警告」(p. 20) が頻繁に表示される

カメラの内部メモリーがなくなると、バッファ警告がいっぱいまで表示され、撮影が自動的に終了します。	● 以下の方法をお試しください。 - 撮影する前にメモリーカードを物理フォーマットする(p. 35) - 記録画素数を小さくしたり、フレームレートを下げる(p. 47) - 高速のメモリーカード(SDC-512MSH など)を使用する
--	--

こんなときには

再生のとき

再生できない

他のカメラで撮影した画像やパソコンで編集した画像を再生しようとした。

- 付属の ZoomBrowser EX や ImageBrowser を使って、再生できない画像をパソコンからカメラに追加すると、再生できることがあります。詳細は、ZoomBrowser EX / ImageBrowser のソフトウェアガイド (PDF) をご覧ください。

ファイル名をパソコンで変更したり、ファイルの場所を変更しました。

- ファイル名およびフォルダ番号は、カメラの形式にあったファイル名にしてください (詳細は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください)。

動画を編集できない

他のカメラで撮影した動画は、編集ができない場合があります。

動画を正しく再生できない

大きい記録画素数と高いフレームレートで撮影した動画を、読み込み速度の遅いメモリーカードで再生すると、再生が一瞬中断することがあります。

パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム(コマ)落ちしたり、音声途切れる場合があります。

このカメラで撮影した 罫 の画像は、他のカメラで正しく再生できない場合があります。

ビデオ出力方式を PAL 方式に設定し、罫 で撮影した動画をテレビやビデオなどに出力する場合、撮影したフレームレートより低いフレームレートで再生されます。なお、スロー再生時は、すべてのフレームを再生できます。

- オリジナルのフレームレートで画像を確認したい場合は、カメラの液晶モニター、ビューファインダーまたはパソコンで再生することをおすすめします。

メモリーカードからの画像の読み出しが遅い

違う機器で初期化したメモリーカードが入っています。

- このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください(p. 35)。

電池

電池の消耗が早い

不適切な電池が入っています。

- 未使用の単3形アルカリ電池またはキヤノン製の単3形ニッケル水素電池を入れてください(基本編 p. 1)。

周囲の温度が低いために電池の容量が低下しています。

- 温度が比較的低い場所で撮影する場合には、ポケットなどに電池を入れて、温めてからお使いください。

電池の電極が汚れています。

- 電極を乾いた布などで拭いてからお使いください。
- 電池を数回入れ直してください。

キヤノン製の単3形ニッケル水素電池の消耗が早い

1年以上お使いにならなかったために、充電電池の容量が低下しています。

- フル充電して使い切ることを数回繰り返すうちに容量が回復します。

充電電池の寿命です。

- 4本ともすべて未使用の充電電池と交換してください。

テレビ出力

テレビに出力できない

お使いの地域のビデオ出力方式に合っていないです。

- 正しいビデオ出力方式(NTSC または PAL)に合わせてください(p. 32)。日本国内の出力方式は、「NTSC」です。

<p>スティッチアシストで撮影しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● スティッチアシストではテレビに出力できません。他の撮影モードで撮影してください(基本編 p. 8)。
---------------------------	--

カメラダイレクト対応プリンターで印刷するとき

印刷ができない

<p>カメラとプリンターが正しく接続されていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定されたケーブルでカメラとプリンターを正しく接続してください。
<p>プリンターの電源が入っていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● プリンターの電源を入れてください。
<p>印刷接続方式が正しくありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● [設定]メニューの[印刷接続方式]で[自動]を選択してください(p. 32)。

メッセージ一覧

撮影または再生中に液晶モニター(またはビューファインダー)に表示されるメッセージには以下のものがあります。プリンターを接続しているときに表示されるメッセージについては、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

処理中 ...

撮影した画像をメモリーカードに記録しています。
再生モードを起動中です。
カメラやメニューの設定を初期設定に戻しています。

カードがありません

メモリーカードをカメラに入れずに、電源を入れました。

ライトプロテクト

SDメモリーカードがライトプロテクト(書き込み禁止)されています。(p. 122)

記録できません

メモリーカードがカメラに入っていないのに撮影しようとしてしました。

カードが異常です

メモリーカードに異常があります。

カードがいっぱいです

メモリーカードの容量いっぱい画像や音声記録されていて、これ以上記録や保存ができません。または、これ以上画像指定、音声メモやサウンドレコーダーはできません。

ファイル名が作成できません

カメラが作成しようとするフォルダと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでに画像番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。設定メニューで[画像番号]を[オートリセット]に設定してください。必要な画像、あるいは音声をパソコンに取り込んだ後、メモリーカードを初期化してください(p. 35)。なお、初期化するとメモリーカード内の画像およびデータはすべて消去されます。

バッテリーを交換してください

電池の残量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに4本とも未使用の単3形アルカリ電池か、充電されたキヤノン製の単3形ニッケル水素電池に交換してください。

画像がありません

メモリーカードに画像が記録されていません。

画像が大きすぎます

4992 × 3328 画素より大きな記録画素数の画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしてしました。

互換性のない JPEG です

互換性のない JPEG 圧縮の画像を再生しようとしてしました。

データが壊れています

データの破壊されている画像を再生しようとしてしました。

RAW

RAW タイプで記録された画像を再生しようとしてしました。

認識できない画像です

特殊なタイプ(他社カメラ特有の記録タイプなど)で撮影した画像、または別のカメラで撮影した動画を再生しようとしてしました。

拡大できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を拡大しようとしてしました。

回転できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を回転しようとしてしました。

互換性のない WAVE です

録音済みの音声メモ、または音声のタイプが正しくないので、この画像に追加録音できません。

登録できない画像です

このカメラ以外で撮影した画像、または動画を起動画面に登録しようとしてしました。

処理できない画像です

このカメラ以外で撮影した画像、または動画にレタッチカラーで効果をつけようとしてしました。

転送できません

ダイレクト転送画面で画像をパソコンへダイレクト転送するとき、データが破壊された画像や、別のカメラもしくは、異なるタイプで撮影した画像を指定しようとしてしました。または、[パソコンの背景]を選び、動画を指定しようとしてしました。

プロテクトされています

プロテクトされている画像、動画、音声を、消去または編集しようとしてしました。

指定が多すぎます

印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定が多すぎます。これ以上指定できません。

指定完了できませんでした

印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定を一部保存できませんでした。

指定できない画像です

JPEG 以外の画像を印刷指定しようとしてしました。

編集できません

スライドショー指定ファイルが壊れています。

通信エラー

メモリーカード内に大量の画像(1000 画像程度)があるため、パソコンに画像が取り込めませんでした。

レンズエラーを検知しました

レンズ駆動中にカメラがエラーを検知して、自動的に電源を切りました。レンズ駆動中にレンズを押さえたり、ほこり / 砂ぼこりの立つ場所などでカメラを駆動すると、発生する恐れがあります。いったん電源を入れ直して、撮影または再生してください。頻繁にこのメッセージが表示される場合は、レンズの故障が考えられますので、サービスセンターへお持ちください。

Exx

カメラがエラーを検知しました。いったん電源を入れ直して、撮影または再生してください。頻繁にこのエラーコードが表示されるときは、故障ですので「Exx」の数値を控えてサービスセンターへお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

電池の取り扱い

電池残量の確認

以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。



電池残量が低下しています。長時間お使いになる場合は、早めに電池を交換してください。

バッテリーを交換してください

電池の残量が少なく、動作不能です。ただちに電池を交換してください。

取り扱い上の注意

- このカメラで使用できる電池は、単3形アルカリ電池、キヤノン製の単3形ニッケル水素電池(別売)です。
単3形ニカド電池もお使いになれますが、性能のばらつきがあり、おすすめはできません。
- アルカリ電池は銘柄によって、付属のアルカリ電池に比べ使用可能時間が短い場合があります。
アルカリ電池は銘柄により容量や特性に差があります。
- 低温下や長時間カメラをお使いになるときは、キヤノン製の単3形ニッケル水素電池(別売)のご使用をおすすめします。
アルカリ電池は、低温下では使用可能時間が短くなります。
また、ニッケル水素電池に比べ、電池の寿命が短い場合があります。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
古い電池が液漏れを起こすことがあります。
- 電極(⊕と⊖)を逆にして入れないでください。
- メーカーや種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 電池を入れる前に、電極を乾いた布などでよく拭いてお使いください。
電極が皮脂などで汚れていると、記録可能画像数が著しく少なくなったり、電池の使用可能時間が短くなります。
- 低温下では、電池の性能が低下したり、バッテリーアイコン(🔋)が早めに表示されることがあります。
使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。
- ポケットで温めるときは、キーホルダーなどの金属類と一緒に入れないでください。
電池がショートするおそれがあります。

- 長期間使用しないときは、カメラから電池を取り出して保管してください。
電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因でカメラが故障することがあります。

⚠ 警告

外装シールが(一部または全体に関わりなく)剥がれている電池や破損している電池は、絶対にお使いにならないでください。

電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり危険です。市販されているままの状態でも、電池によっては、外装シールが十分でないものがあります。このような電池も絶対にお使いにならないでください。

以下のような形状の電池はご使用になれません。



外装シールが一部またはすべて剥がしてある電池(裸電池)



プラス電極が平らな電池



マイナス電極の一部が膨らんでいるが、十分に外装シールで被われていない電池

メモリーカードの取り扱い

SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチについて



取り扱い上の注意

- 曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。
- 分解したり、改造しないでください。
- 端子部にゴミや水、異物などを付着させたり、手や金属で触れたりしないでください。
- 貼られているラベルをはがしたり、別のラベルやシールを貼ったりしないでください。
- 文字を書くときは、鉛筆やボールペンを使用しないでください。必ず油性ペンをお使いください。
- 下記の場所で使用したり、保管しないでください。
 - ほこりや砂ぼこりの立つ場所
 - 高温多湿の場所
- 大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。
電気ノイズ、静電気、カメラやメモリーカードの故障などにより、カード内のデータが壊れたり、消失することがあります。

初期化

- 初期化すると、プロテクトした画像も消去されます。
- このカメラで初期化したメモリーカードをお使いになることをおすすめします。
 - 付属のメモリーカードは、そのままお使いになれます。
 - カメラが正しく動作しないときは、メモリーカードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。
 - キヤノン製以外のメモリーカードで正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。
 - 他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したメモリーカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。
- 正しく初期化されないときは、電源を切ってから、メモリーカードを入れ直し、再度初期化してください。

コイン型リチウム電池を交換する

カメラの電源を入れたとき、日付/時刻の設定メニューが表示された場合は、コイン型のリチウム電池の残量が低下し、日時の設定が消えています。市販のコイン型リチウム電池(CR1220)をお求めのうえ、次の手順で交換してください。

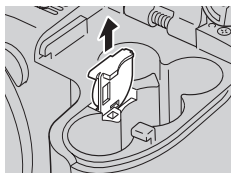
最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、ご購入後の電池の寿命が規定よりも短くなる場合があります。



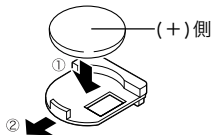
コイン型のリチウム電池は、お子様の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合、電池の素材の化学物質により、胃、腸が侵される恐れがありますので、直ちに医師に相談してください。

1 電源を切り、バッテリーカバーを開く(基本編 p. 1)

2 単3形の電池を取り出し、コイン電池ホルダーの側面に爪を掛けて引き出す



3 古いコイン型リチウム電池を取り外し、新しいコイン電池の(+) 側を上にしてコイン電池ホル ダーに取り付ける



4 コイン電池ホルダーと単3形の電池を元に戻し、バッテリーカバーを閉じる

5 日付/時刻設定メニューが表示されたら、日付/時刻を設定する(基本編 p. 4)



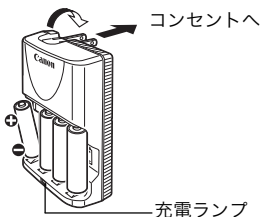
- カメラをご購入後、はじめて電源を入れたときにも、日付/時刻の設定画面が表示されますが、コイン型リチウム電池を交換する必要はありません。

電源キット(別売)の使いかた

充電式バッテリーを使う

バッテリー/チャージャーキット CBK4-300

バッテリーチャージャーと単3形ニッケル水素電池4本が入っています。次のように電池を充電してください。



- バッテリーチャージャーに電池を装着してから、コンセントに差ししてください。
 - 電池の充電開始後に、電池を追加して充電しないでください。
- 充電中は充電ランプが点滅します。充電が終わると点灯に変わります。



- バッテリーチャージャーCB-5AH はキヤノン製単3形ニッケル水素電池NB-3AH、NB-2AH専用です。その他の電池を充電しないでください。
- 充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使わないでください。電池を充電するときは、必ず、一緒に使用している4本を同時に充電してください。

次ページに続く >>

- 電池を保護し、性能の劣化を防ぐため、フル充電された電池を再度充電しないでください。また、24 時間以上連続して充電しないでください。
- 熱のこもりやすい場所では充電しないでください。
- 充電は、「バッテリーを交換してください」というメッセージが液晶モニター（またはビューファインダー）に表示されてから行ってください。使い切らずに充電を繰り返すと、容量が低下することがあります。
- 以下のときは、電池の電極を乾いた布などでよく拭いてください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。
 - 電池の使用可能時間が著しく短いとき
 - 記録画像数が著しく少ないとき
 - 電池を充電するとき（さらに、電池の取り付けと取り外しを 2～3 回繰り返してから充電してください。）
 - 電池の充電時間が数分程度で終了する（バッテリーチャージャーの充電ランプが点灯する）とき
- お買い求め直後や長期間お使いにならなかった電池は、十分に充電されないことがあります。このときは、フル充電して電池を使い切ることを数回繰り返してください。電池の性能が元に戻ります。
- 電池を長期間（1 年程度）保管する場合は、カメラで電池を使いきってから、湿度の低い、室温（0～30℃）で保管してください。フル充電の状態でも長期間（1 年くらい）保管すると、電池の寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがあります。また長期間使用しないときは、1 年に 1 回程度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。
- 電極を拭いてから充電ランプが点灯するまで充電したにもかかわらず、電池の使用可能時間が著しく短いときは、電池の寿命と考えられます。新しい電池と交換してください。新しくお求めになるときは、キヤノン製の単 3 形ニッケル水素電池 NB4-300（NB-3AH 4 本セット）をご購入ください。
- 電池をカメラやバッテリーチャージャーに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。お使いにならないときは、カメラやバッテリーチャージャーから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。



- 完全に放電された状態からフル充電になるまでの時間は、約4時間40分です(当社測定基準による)。0～35℃の範囲で充電してください。
- 充電時間は、周囲の温度や充電状態により異なります。
- バッテリーチャージャーを使用中、音がすることがありますが、故障ではありません。
- バッテリー/チャージャーキットCBK4-200もお使いになれます。



Ni-MH

- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- ニッケル水素電池の回収、リサイクルについては、下記の「キヤノン/キヤノンマーケティングジャパン」のホームページで確認できます。
- 交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店へのお問い合わせは、以下へお願いします。
 - 製品、ニッケル水素電池をご購入いただいた販売店
 - 「有限責任中間法人 JBRC」および「キヤノン/キヤノンマーケティングジャパン」

有限責任中間法人 JBRC ホームページ

<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>

キヤノン/キヤノンマーケティングジャパンホームページ

<http://cweb.canon.jp/ecology/recycle5.html>

リサイクル時のご注意

電池を分解しないでください。

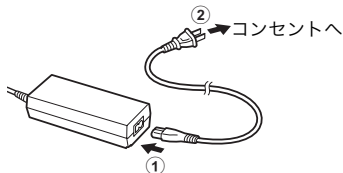
コンパクトパワーアダプター(別売)を使う

カメラを連続して長時間お使いになるときや、パソコンやプリンターと接続するときは、コンパクトパワーアダプター CA-PS700(別売)のご利用をおすすめします。

! コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しは、必ずカメラの電源を切って(基本編 p. 3)から行ってください。

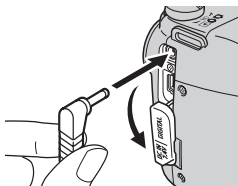
1 コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む

電源コードは奥までしっかり差し込んでください。



2 カメラの端子カバーを開き、コンパクトパワーアダプターのDCプラグをDC IN端子に接続する

使用後はコンパクトパワーアダプターを取り外してください。



レンズ(別売)の使いかた

別売のワイドコンバーターWC-DC58A、テレコンバーターTC-DC58B、クローズアップレンズ500D(58mm)を取り付けるときは、別売のコンバージョンレンズアダプターLA-DC58E(レンズアダプター/フードセットLAH-DC20に付属)が必要です。



- ワイドコンバーター/ テレコンバーター/ クローズアップレンズを取り付けるときは確実にねじ込んでください。緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。
- ワイドコンバーター/ テレコンバーター/ クローズアップレンズは絶対に太陽や強烈なライトに向けしないでください。失明の恐れがあります。
- レンズフード装着時に内蔵ストロボを使用すると、画像の周辺部(特に画像右下)が暗くなります。
- ワイドコンバーターは、ワイド端の位置でお使いください。
- テレコンバーターは、テレ端付近でお使いください。それ以外のズーム位置でお使いになると、画像が欠け(ケラレ)ることがあります。

■ワイドコンバーター WC-DC58A

広角撮影をするためのレンズで、焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の約0.75倍になります(ねじ径58mm)。

■テレコンバーター TC-DC58B

望遠撮影をするためのレンズで、焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の約1.5倍になります(ねじ径58mm)。



- ワイドコンバーターやテレコンバーターにフィルターやレンズフードは取り付けられません。

■クローズアップレンズ 500D(58mm)

簡単にマクロ撮影するためのレンズです。通常撮影で、レンズ前面から被写体までが、ワイド端で28~50cm、テレ端で35~50cmの至近距離で撮影できます。

撮影範囲について

	レンズ前面から被写体までの距離	撮影範囲
ワイド端	28cm	276 × 207mm
テレ端	35cm	34 × 26mm

■レンズアダプター/フードセット LAH-DC20

- コンバージョンレンズアダプター LA-DC58E

ワイドコンバーターやテレコンバーター、クローズアップレンズを取り付けるためのレンズアダプターです（ねじ径58mm）。

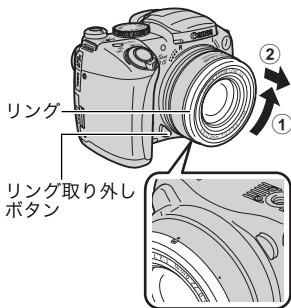
- レンズフード LH-DC40

ストロボを使わずに広角側で逆光時に撮影する場合は、画面外の光がレンズに入らないように、レンズフードを取り付けることをおすすめします。

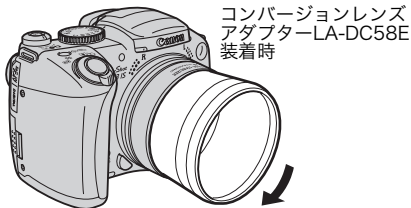
レンズ/レンズフードを取り付ける

1 電源が切れていることを確認する

2 リング取り外しボタンを押しながら、リングを矢印の方向に回し(①)、カメラの●とリングの●が合ったら、リングを取り外す(②)



3 コンバージョンレンズアダプターの●をカメラの●印に合わせてから、▲印のところまで矢印の方向に回して取り付ける



- コンバージョンレンズアダプター（レンズフードまたはコンバージョンレンズ）を取り外すときは、リング取り外しボタンを押しながら反対方向に回します。

4 レンズまたはレンズフードを矢印の方向に回して確実に取り付ける



- ご使用前にはレンズ面のゴミをブローブラシなどで完全に
取り除いてください。ゴミが付いていると、ゴミにピントが合っ
てしまいます。
- レンズには指紋がつきやすいのでご注意ください。
- リングを外すときは、カメラやコンバージョンレンズアダプター
を落とさないように注意してください。
- レンズを取り付けて□ (スティッチアシスト)で撮影した場合、
画像は、パソコンを使ってパノラマ画像合成ソフトウェア
「PhotoStitch」で正しく合成できません。

コンバーターを設定する

ワイドコンバーターWC-DC58A、テレコンバーターTC-DC58B
を取り付けたときは、カメラにコンバーター設定します(クローズアッ
プレレンズ500Dは設定不要です)。

1 (撮影)メニュー → [コンバータ] → [切]* / [WC- DC58A] / [TC-DC58B]

メニュー操作(p. 27)

- 取り付けたコンバーターを選びます。
- * 初期設定

付
録

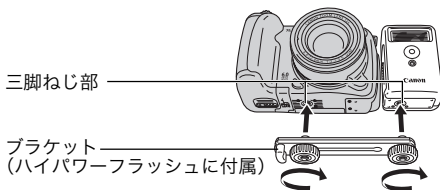
- コンバーターをカメラから取り外したときは、コンバーターを
[切]の設定に戻してください。

補助ストロボ(別売)の使いかた

ハイパワーフラッシュ HF-DC1

被写体が遠すぎて内蔵ストロボが届かないときに使用する外付け用補助ストロボです。次のようにカメラとハイパワーフラッシュをブラケットで固定して撮影してください。

ハイパワーフラッシュに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。



- 撮影モードがMのとき、またはTv、Avで[ストロボ自動調光]が[切]のとき(p. 75)、ハイパワーフラッシュは発光しません。
- 電池が消耗するとハイパワーフラッシュの充電時間が長くなります。ご使用後はハイパワーフラッシュの電源 / 発光モードスイッチを必ず切ってください。
- 撮影中は、発光部や受光部を指でふさがないように注意してください。
- 撮影場所の周囲で他のカメラがストロボを使用していると、ハイパワーフラッシュが発光することがあります。
- 日中の野外や反射物がないときは、ハイパワーフラッシュが発光しないことがあります。
- 連続して撮影するときは、1画像目の撮影時は発光しますが、2画像目以降は発光しません。
- ブラケットの取り付けねじは、しっかり締め付けてください。カメラとハイパワーフラッシュが落下して故障の原因となります。



- ハイパワーフラッシュをブラケットに固定する前に、リチウム電池(CR123AまたはDL123)が入れているか確認してください。
- 被写体に正しくストロボが当たるように、カメラとハイパワーフラッシュの前面は平行に、側面はぴったり合うように固定してください。
- ハイパワーフラッシュを取り付けた状態でも三脚はお使いになれます。

電池について

● 電池の使用可能時間が著しく短いとき

電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。

● 寒冷地（0℃以下）でお使いになるとき

予備として市販のリチウム電池（CR123AまたはDL123）を用意してください。使用直前までポケットなどに入れて温めてから交互にお使いになることをおすすめします。

● お使いにならないとき

電池をハイパワーフラッシュに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。ハイパワーフラッシュから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。

海外で使うとき

このデジタルカメラは、海外でもお使いになれますが、ご使用の際は次のことに注意してください。

テレビでの再生

ビデオ出力方式は、初期設定では日本国内で採用しているNTSC方式に設定されていますが、海外の別方式(PAL方式:主にヨーロッパ、オセアニア、アジア(一部地域を除く))に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください(p. 32)。

電源について

コンパクトパワーアダプターやバッテリーチャージャーは、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります(1つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります)。

変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。



- コンパクトパワーアダプターやバッテリーチャージャーを海外旅行用の電子変圧器などに接続すると、故障、発熱、火災、感電、けがの原因となることがありますので、接続しないでください。



- 世界時計を設定する(p. 24)

カメラのお手入れ

カメラ本体やレンズ、ビューファインダー、液晶モニターなどが汚れたときは、次の方法でクリーニングしてください。

絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因となることがあります。

カメラ本体

やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。

レンズ

市販のプロワーブラシでほこりやゴミを吹き払った後、やわらかい布で軽く拭き取ってください。



- カメラ本体やレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りのキヤノンサービスセンター（別紙でご確認ください）にご相談ください。

ビューファインダー、液晶モニター

市販のプロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。



- 絶対に液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因となります。

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

PowerShot S3 IS

カメラ部有効画素数	: 約600万画素
撮像素子	: 1/2.5型 CCD(総画素数 約620万画素)
レンズ	: 6.0(W)-72.0(T)mm (35mm フィルム換算 36 - 432mm) F2.7(W)-F3.5(T)
デジタルズーム	: 最大約4.0倍(光学ズームと合わせて最大約48倍)
ビューファインダー	: カラー液晶ファインダー、視野率100% 視度調整機能-5.5~+1.5m ⁻¹ (ディオプトリ相当)
液晶モニター	: 2.0型低温ポリシリコンTFT液晶カラーモニター、 約11.5万画素、視野率100%(パリアングルタイプ)
AF方式	: TTLオートフォーカス(コンティニアス/シングル) AFロックおよびマニュアルフォーカス可能 測距枠:1点(中央固定/アクティブフレームコントロール)
撮影距離 (レンズ先端より)	: 通常撮影:50cm~∞(W)/90cm~∞(T) マクロ撮影:10~50cm(W) スーパーマクロ撮影時:0~10cm(Wのみ)
シャッター	: メカニカルシャッター+電子シャッター
シャッタースピード	: 15~1/3200秒 ● 撮影モードによって異なる ● 15~1.3秒はシャッタースピード優先モードまたはマニュアルモード撮影時 ● 15~1.3秒のスローシャッター時はノイズリダクション処理あり
測光方式	: 評価/中央部重点平均/スポット(中央固定/AF 枠連動)
露出補正	: ±2段(1/3段ステップ)、AEB撮影可能、セーフ ティシフト可能
ISO感度	: オート*、高感度オート*、ISO 80 / 100 / 200 / 400 / 800相当 *オート、高感度オート設定時は、カメラが最適 値に自動設定
ホワイトバランス	: オート/太陽光/くもり/電球/蛍光灯/蛍光灯 H/ストロボ/マニュアル

(W):ワイド端 (T):テレ端

内蔵ストロボ	: オート [*] /常時発光 [*] /発光禁止 *赤目緩和設定可能 FEロック/スローシンクロ/先幕、後幕シンクロ可能
内蔵ストロボ撮影範囲	: 通常撮影:50cm~5.2m(W)/90cm~4.0m(T) (ISO感度設定:オート) マクロ撮影:30~50cm(W) (ISO感度設定:オート)
ストロボ調光補正	: ±2段(1/3段ステップ)
ストロボ発光量 [*]	: 3段階 *ストロボ調光設定[切]時に設定可
撮影モード	: オート クリエイティブゾーン:プログラム/シャッター スピード優先/絞り優先/マニュアル/カスタム イメージゾーン:ポートレート/風景/夜景/スポーツ/スペシャルシーン [*] /スティッチアシスト/動画 *新緑/紅葉、スノー、ビーチ、打上げ花火、ワンポイントカラー、スイッチカラー、ナイトスナップ、パーティー/室内
連続撮影	: 約1.5画像/秒(ラージ/ファインモードのとき) 約2.3画像/秒(高速連続撮影、ラージ/ファインモードのとき)
インターバル撮影	: 撮影間隔:約1~60分(1分単位) 撮影画像数:2~100画像(最大画像数は、メモリーカードの容量による)
セルフタイマー	: 約10秒後/約2秒後/カスタム
パソコン接続撮影	: USB接続時、付属のソフトウェアで撮影可能
記録媒体	: SDメモリーカード/マルチメディアカード
ファイルフォーマット	: DCF準拠 ^{*1} 、DPOF対応
データタイプ(静止画)	: Exif 2.2(JPEG) ^{*2} 音声メモ、サウンドレコーダー:WAVE(ステレオ)
(動画)	: AVI(画像データ:Motion JPEG 音声データ:WAVE(ステレオ))
圧縮率	: スーパーファイン/ファイン/ノーマル
記録画素数(静止画)	: ラージ:2816×2112画素 ミドル1:2272×1704画素 ミドル2:1600×1200画素 スモール:640×480画素 ワイド:2816×1584画素

(W):ワイド端 (T):テレ端

動画記録画素数/フレームレート	640×480画素、30フレーム/秒 640×480画素、15フレーム/秒 320×240画素、60フレーム/秒 320×240画素、30フレーム/秒 320×240画素、15フレーム/秒 メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影可能* (1回の最長撮影容量:1GB)** * 超高速のメモリーカード使用時 (推奨メモリーカード:SDC-512MSH) ** 撮影容量が1GBに達していても、撮影時間が1時間に達した時点で記録を停止します。 メモリーカードの容量、データ書き込み速度により、1GBまたは1時間に満たなくても記録を停止します。
音声	サンプリング周波数:44.100/11.025/22.050 kHz 量子化ビット:16ビット
再生モード	シングル再生(ヒストグラム表示可能) / インデックス再生(サムネイル9画像) 拡大再生(液晶モニター/ビューファインダー上で約10倍に拡大可能、拡大した状態で画像送りが可能)/ジャンプ(10枚ごと、100枚ごと、各撮影日の先頭画像、動画、各フォルダの先頭画像にジャンプが可能。インデックス再生時は、9画像ごとに再生)/スライドショー/レタッチマイカラー/ 音声メモ(最長1分まで記録/再生が可能)/ 動画再生(編集/スロー再生可能)/ サウンドレコーダー(最長2時間まで音声だけの記録/再生が可能)
情報表示(カスタマイズ)機能	表示先: 液晶モニター(2種類)、ビューファインダー(2種類) 表示内容: 撮影情報*、グリッドライン*、ヒストグラム* * それぞれの表示先に対し、表示 / 非表示の設定が可能
ダイレクトプリント	PictBridge / CPダイレクト / Bubble Jet ダイレクトに対応
マイカメラ(カスタマイズ)機能	起動画面 / 起動音 / 操作音 / セルフタイマー音 / シャッター音
インターフェース	USB 2.0 Hi-Speed(mini-B)、PTP [Picture Transfer Protocol] 映像 / 音声出力端子(NTSCまたはPAL切替可能、ステレオ音声)
電源	単3形アルカリ電池(付属) ニッケル水素電池(NB4-300)(別売) コンパクトパワーアダプター(CA-PS700)(別売)
動作温度	0～40℃
湿度	10～90%

(W):ワイド端 (T):テレ端

大きさ(突起部を除く) : 113.4 × 78.0 × 75.5 mm

質量(本体のみ) : 約410 g

(W):ワイド端 (T):テレ端

- *1 DCFは(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、DSC等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
- *2 このデジタルカメラは、Exif 2.2(愛称「Exif Print」)に対応しています。Exif Printは、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷結果を得ることができます。

電池性能について

	撮影画像数		再生時間
	液晶モニター表示時(CIPA測定法準拠)	ビューファインダー表示時	
単3形アルカリ電池(付属品)	約110画像	約110画像	約13時間
単3形ニッケル水素電池(NB4-300)(フル充電)	約550画像	約570画像	約15時間

- 撮影画像数は、撮影状況、撮影モードなどにより異なります。
- 動画データは除きます。
- 使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります。このような場合は、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、バッテリーの性能が回復することがあります。

<測定条件>

撮影: 常温(23 ± 2°C)・常湿(50 ± 20%)で、2回に1回ストロボを発光させながら、30秒間隔でワイド端とテレ端で交互に撮影し、10画像撮影後に電源切。十分な時間*が経過したあと、再び電源を入れて同様の方法で撮影を繰り返す。

- 付属のメモリーカードを使用

*電池の温度が常温に戻るまでの時間

再生: 常温(23 ± 2°C)・常湿(50 ± 20%)の環境において、1画像あたり3秒間隔で連続再生。



















- 電池の取り扱いについて(p. 121)

メモリーカードの種類と記録可能画像数の目安

■静止画

□: 付属のメモリーカード

		16MB	SDC-128M	SDC-512MSH
L (ラージ) 2816 × 2112 画素		4	45	176
		8	75	292
		17	156	603
M1 (ミドル 1) 2272 × 1704 画素		6	61	237
		12	109	425
		24	217	839
M2 (ミドル 2) 1600 × 1200 画素		13	121	471
		24	217	839
		46	411	1590
S (スモール) 640 × 480 画素		52	460	1777
		80	711	2747
		127	1118	4317
W (ワイド) 2816 × 1584 画素		6	60	235 *
		11	101	392
		13	205	794

-  欄はスムーズ連写できます (p. 41)。(*: 物理フォーマットした場合に可能)
- 当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件により変わります。

■動画

□:付属のメモリーカード

モード	動画記録画素数 / フレームレート	16MB	SDC-128M	SDC-512MSH
	640 × 480 画素 / 30 フレーム / 秒	6 秒	1 分 4 秒	4 分 9 秒
	640 × 480 画素 / 15 フレーム / 秒	14 秒	2 分 7 秒	8 分 14 秒
	320 × 240 画素 / 60 フレーム / 秒	10 秒	1 分 32 秒	5 分 59 秒
	320 × 240 画素 / 30 フレーム / 秒	20 秒	3 分 1 秒	11 分 42 秒
	320 × 240 画素 / 15 フレーム / 秒	40 秒	5 分 55 秒	22 分 53 秒

*表中の数値は、音声のサンプルレートを44.100kHzに設定し、繰り返し撮影した場合の最大記録可能時間です。

1 画像の容量(目安)

■静止画

記録画素数		圧縮率		
	2816 × 2112 画素	2720 KB	1620 KB	780 KB
	2272 × 1704 画素	2002 KB	1116 KB	556 KB
	1600 × 1200 画素	1002 KB	558 KB	278 KB
	640 × 480 画素	249 KB	150 KB	84 KB
	2816 × 1584 画素	2026 KB	1210 KB	585 KB

■動画

モード	記録画素数	フレームレート	容量
	640 × 480 画素	30 フレーム / 秒	1980KB/ 秒
	640 × 480 画素	15 フレーム / 秒	990KB/ 秒
	320 × 240 画素	30 フレーム / 秒	660KB/ 秒
	320 × 240 画素	15 フレーム / 秒	330KB/ 秒
	320 × 240 画素	60 フレーム / 秒	1320KB/ 秒

SDメモリーカード

インターフェース	:SDメモリーカード規格準拠インターフェース
大きさ	:32.0 × 24.0 × 2.1mm
質量	:約 2g

マルチメディアカード

インターフェース	:マルチメディアカード規格準拠インターフェース
大きさ	:32.0 × 24.0 × 1.4mm
質量	:約 1.5g

コンパクトパワーアダプター CA-PS700(別売)

定格入力	:AC100 ~ 240V(50 / 60 Hz) 30VA(100V) ~ 40VA(240V)
定格出力	:DC 7.4V / 2.0A
使用温度	:0 ~ 40 °C
大きさ	:112.0 × 29.0 × 45.0mm(本体のみ)
質量	:約 185g

バッテリーチャージャー CB-5AH

(別売のバッテリー/チャージャーキット CBK4-300に付属)

定格入力	:AC100 ~ 240V(50 / 60Hz) 16VA(100V) ~ 21VA(240V)
定格出力	:565mA * 1、1275mA * 2
充電時間	:約 4 時間 40 分* 1、約 2 時間* 2
使用温度	:0 ~ 35 °C
大きさ	:65.0 × 105.0 × 27.5mm
質量	:約 95g

*1 ニッケル水素電池NB-3AH 4本充電時

*2 ニッケル水素電池NB-3AH 2本をバッテリーチャージャーの両端にセットしたとき

ワイドコンバーター WC-DC58A(別売)

倍率	:約 0.75 倍
焦点距離	:27mm(35mm フィルム換算)
レンズ構成	:3 群 3 枚
撮影範囲 (レンズ先端より)	:28cm ~∞
ねじ径	:58mm 標準フィルターネジ (PowerShot S3 IS に装着時は、コンバージョンレンズアダプターLA-DC58E が必要)
大きさ	:直径 79.0mm 長さ 39.3mm
質量	:約 170g

テレコンバーター TC-DC58B(別売)

倍率	:約 1.5 倍
焦点距離	:648mm(35mm フィルム換算)
レンズ構成	:3 群 5 枚
撮影範囲 (レンズ先端より)	:2.0m ~∞
ねじ径	:58mm 標準フィルターネジ (PowerShot S3 IS に装着時は、コンバージョンレンズアダプターLA-DC58E が必要)
大きさ	:直径 72.0mm 長さ 64.8mm
質量	:約 170g

クローズアップレンズ 500D 58mm(別売)

撮影範囲 (レンズ先端より)	:28 ~ 50cm(ワイド端) 35 ~ 50cm(テレ端)
ねじ径	:58mm 標準フィルターネジ (PowerShot S3 IS に装着時は、コンバージョンレンズアダプターLA-DC58E が必要)
大きさ	:直径 60.0mm 長さ 10.5mm
質量	:約 60g

ニッケル水素電池 NB-3AH

(別売のニッケル水素電池 NB4-300またはバッテリー/チャージャーキット CBK4-300に付属)

形式	: 単 3 形ニッケル水素電池
公称電圧	: DC1.2V
公称容量	: 2500mAh(最小:2300mAh)
充放電回数	: 約 300 回(目安)
動作温度	: 0 ~ 40 °C
大きさ	: 直径 14.5mm 長さ 50mm
質量	: 約 30g

コンバージョンレンズアダプター LA-DC58E

(別売のレンズアダプター/フードセット LAH-DC20に付属)

ねじ径	: 58mm 標準フィルターネジ
大きさ	: 直径 63.0mm 長さ 43.1mm
質量	: 約 19g

レンズフード LH-DC40

(別売のレンズアダプター/フードセット LAH-DC20に付属)

ねじ径	: 58mm 標準フィルターネジ
大きさ	: 直径 79.0mm 長さ 31.5mm
質量(本体のみ)	: 約 19g

CANON iIMAGE GATEWAYを利用する

CANON iIMAGE GATEWAY は、キヤノンのデジタルカメラを購入された方がお使いになれるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録(無料)されると、いろいろなサービスがご利用いただけます。

- バージョンアップなど、サポート情報の電子メール配信サービス
- オンラインアルバムサービス
- 携帯電話アルバム通知・閲覧サービス
- ホームプリンティングサービス
- プリント注文サービス (有料)
- オリジナル写真集 (フォトブック) 作成サービス (有料)
- マイカメラコンテンツのダウンロード

<http://www.imagegateway.net/>

- 最新のサービス内容は、上記のサイトでご確認いただけます。
- 会員登録方法は、上記のサイト、またはソフトウェアクイックガイドでご確認いただけます。

*インターネットに接続できる環境(プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み)が必要です。
*プロバイダとの接続料金、およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

記号 / アルファベット

AEB 撮影	69
AE ロック	66
AF 補助光	12、28
AF モード	63
AF ロック	62
AF 枠(☒)	60
CANON IMAGE GATEWAY	145
DCF	22、139
DIGITAL 端子	12
DISP.	15
DPOF	
印刷指定	98
送信指定	101
FE ロック	67
FUNC.	15
ISO 感度 (ISO)	65
MENU	15
MF	63
MF 拡大表示	28、63
SD メモリーカード	1

ア行

赤目緩和機能	12、28
圧縮率	36
後幕	76
イージーダイレクト(♫)	
.....	15、基本編 p. 17、24
印刷	基本編 p. 17
画像指定	98
インターバル撮影	29、76
インデックス再生(☒)	83
ウィンドカット	49
液晶の明るさ	31
液晶モニター	14
エリア設定	24、31
オーディオ	49
オートパワーオフ	23、31
音声メモ(🎤)	90

音声モード	49
音量	31

カ行

回転	87
拡大表示(Q)	83
カスタム(C)	78
カスタム登録	29、78
カスタム(セルフタイマー)	44
画像番号	21、31、81
カメラのお手入れ	135
起動音	31、33
起動画面	33
記録画素数	36
クリエイティブゾーン	55
グリッドライン	17、20、29
クローズアップレンズ	129
言語設定	基本編 p. 5、32
効果(再生)	88
広角(📷)	14
高輝度警告	23
高速連続撮影	41
コンバーター	131
コンパクトパワー アダプター	128

サ行

再生	基本編 p. 14
テレビで見る	103
再生音量	31
再生モード(▶)	基本編 p. 14
サウンドレコーダー	91
先幕	76
撮影の確認	29、基本編 p. 7
テレビを使う	103
撮影メニュー	28
撮影モード	16、基本編 p. 8
サンプルレート	49
至近距離撮影(🌸)	
.....	基本編 p. 12

自動再生(スライドショー)	93
絞り数値	58
絞り優先 AE(Av)	57
シャッター音	31、33
シャッタースピード	57
シャッタースピード 優先 AE(Tv)	56
シャッターボタン	14
ジャンプ(Ⓜ)	84
十字ボタン	15
消音	31
消去	
1 画像消去 .. 基本編 p. 14	
全画像消去	97
詳細表示	22
ショートカット	29、59
ショートカットボタン(Ⓜ)	59
初期化	31、35
初期設定に戻す	34
スイッチカラー	53
スーパーマクロ	
.....39、基本編 p. 12	
ズーム	14、40、83
スティッチアシスト	50
ストロボ	12、基本編 p. 11
調光補正	75
発光する	
タイミング	28、76
スピーカー	14
スペシャルシーン...基本編 p. 9	
新緑/紅葉	
スノー	
ビーチ	
打上げ花火	
ワンポイントカラー	
スイッチカラー	
ナイトスナップ	
パーティー/室内	
スポーツ.....基本編 p. 8	
スムーズ連写	41
スライドショー	93
スローシンクロナイズ	28、37
セーフティシフト	58
世界時計	24

設定できる機能	151
設定メニュー	31
節電機能	23、31
セルフタイマー(☺)	28、42
セルフタイマー音	33
全画像消去	97
操作音	31、33
測光方式	28、67

タ行

縦横自動回転	32、79
端子カバー	12、14
ディスプレイオフ	31
デジタルズーム	29、40
テレコンバーター	129

電池

電池性能について	139
取り扱い	121

動画

撮る	45
編集する	86
見る	85

ナ行

ナイトビュー機能	19
----------	----

ハ行

ハイパワーフラッシュ	132
バッテリー	
残量	121
パノラマ	50
ヒストグラム	18
日付/時刻	31、基本編 p. 4
ビデオ出力方式	32、103、134
ビューファインダー接眼部	15
ピント	61
風景.....基本編 p. 8	
フォーカスブラケット撮影	64
フォーカスロック	61
フォルダ	80
フレームレート	47
プログラム AE(P)	55
プロテクト	96

望遠(☐)	14、40、83
ポートレート	基本編 p. 8
ホワイトバランス	70

マ行

マイカメラ機能	104
マイカメラメニュー	33
マイカラー	72
マイク	12
マイクレベル	49
マクロ	基本編 p. 12
マニュアル	
フォーカス(MF)	63
マニュアル露出	58
メッセージ一覧	117
メニュー(MENU)	
FUNC. メニュー	28
印刷メニュー	30
再生メニュー	30
撮影メニュー	28
設定メニュー	31
マイカメラメニュー	33
メモリーカード	
記録画像数	140
初期化	35

ヤ行

夜景	基本編 p. 8
----	----------

ラ行

レタッチマイカラー	88
連続撮影(☐)	41
録音音量	49
録画ランプ	12、28
露出補正	69

ワ行

ワイドコンバーター	129
ワンポイントカラー	52

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後7年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド(本書)に従って正しい取り扱いをしてください。

- ①本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ②本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- ③本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたら、キヤノンお客様相談窓口までご連絡ください。連絡先は、本書巻末に記載してあります。
- ④このカメラを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

- DCFは、(社)電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- MacintoshおよびMac OS、QuickTimeは、米国および他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Microsoft[®]、Windows[®]は、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標です。本書では、Microsoft[®] Windows[®] 98、Microsoft[®] Windows[®] 2000、Microsoft[®] Windows[®] Millennium Edition、Microsoft[®] Windows[®] XPを、それぞれWindows 98、Windows 2000、Windows Me、Windows XP、またはWindowsと略して記載しています。
- SDロゴは商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

各撮影モードで設定できる機能一覧

下記の表を参考に、撮影状況に合わせて各種設定を行い、撮影してください。各撮影モードで設定した内容は、撮影後も設定が保持されます。**C**のときは、登録時に設定した内容で撮影ができます。(p. 78)


		AUTO	SCN			AF	P	Tv	Av	M
記録画素数 (静止画) p. 36	ラージ	L	●	●	●	▲	●	●	●	●
	ミドル1	M1	○	○	○	△	○	○	○	○
	ミドル2	M2	○	○	○	△	○	○	○	○
	スモール	S	○	○	○	△	○	○	○	○
	ワイド	W	○	○	○	—	○	○	○	○
圧縮率 p. 36	スーパー ファイン		○	○	○	△	○	○	○	○
	ファイン		●	●	●	▲	●	●	●	●
	ノーマル		○	○	○	△	○	○	○	○
動画記録画素数 / フレームレート ⁽¹⁾ p. 47			○	○	○	△	○	○	○	○
ストロボ 基本編 p. 11	オート		●	● ⁽²⁾	● ⁽³⁾	—	—	●	—	—
	常時発光		—	○ ⁽²⁾	○ ⁽³⁾	△	—	○	○	○
	発光禁止		○	○	○	△	—	○	○	○
赤目緩和 基本編 p. 12			●	● ⁽²⁾	● ⁽³⁾	▲	—	●	●	●
スローシンクロ p. 37			—	— ⁽⁴⁾	● ⁽⁵⁾	△	—	○	—	—
ストロボ自動調光 p. 75			● ⁽⁶⁾	● ⁽⁶⁾ ● ⁽⁷⁾	● ⁽⁶⁾	● ⁽⁶⁾	—	● ⁽⁶⁾	●	●
ストロボ発光 p. 76	先幕		●	● ⁽²⁾	● ⁽³⁾	●	—	●	●	●
	後幕		—	—	—	—	—	○	○	○
ドライブモード p. 41、p. 42	シングル撮影		●	●	● ⁽⁸⁾	●	●	●	●	●
	連続撮影 p. 41		—	● ⁽⁷⁾	●	—	—	●	●	●
	高速連続撮影 p. 41		—	○ ⁽⁷⁾	○ ⁽³⁾	—	—	○	○	○
	10秒セルフ タイマー p. 42		●	●	● ⁽³⁾	●	●	●	●	●
	2秒セルフ タイマー		○	○	○ ⁽³⁾	○	○	○	○	○
	カスタムセルフ		○	○ ⁽⁷⁾	○ ⁽³⁾	—	—	○	○	○
インターバル撮影 p. 76			—	—	—	—	—	○	○	○
AF 枠の選択 p. 60	中央一点		●	●	●	●	●	●	●	●
	マニュアル選択		—	—	—	—	—	○	○	○

		AUTO	SCN				P	Tv	Av	M	
AF ロック p. 62		—	○(2)	○	○	○	○	○	○	○	
マニュアルフォーカス p. 63			—	○(2)	○(3)	○	○	○	○	○	
MF 拡大表示 p. 63		—	●(2)	●(3)	—	—	●	●	●	●	
AF 補助光 p. 28		●	●(2)	●(3)	●	●	●	●	●	●	
マクロ 基本編 p. 12	マクロ		○	○(2)	○(9)	○	—	○	○	○	
	スーパーマクロ		—	○(10)	—	—	○	○	○	○	
デジタルズーム p. 40		○	○(7)	○	—	●	○	○	○	○	
セーフティシフト p. 58		—	—	—	—	—	—	○	○	—	
露出補正 p. 69			—	○(7)	○	△	—(11)	○	○	○	
ISO 感度 p. 65			○(12)	—(13)	—(13)	—(13)	—(13)	○	○(14)	○(14)	○(15)
ホワイトバランス (16) p. 70			—(13)	—(13)	○(18)	△(17)	○(18)	○	○	○	○
測光方式 p. 67	評価測光		●	●	●	▲	●	●	●	●	
	中央部重点 平均測光		—	—	—	—	—	○	○	○	
	スポット測光		—	—	—	—	—	○	○	○	
	中央固定		—	—	—	—	—	●	●	●	●
	AF 枠連動		—	—	—	—	—	○	○	○	○
AE ロック / FE ロック撮影 p. 66, p. 67			—	—	—	—	○(19)	○	○	○	—
ブラケット撮影	AEB p. 69		—	—	—	—	—	○	○	○	—
	フォーカス ブラケット p. 64		—	—	—	—	—	○	○	○	○
マイカラー p. 72			—	—	—	△	○(20)	○	○	○	○
フォーカス設定 p. 63	CONT	●	●(2)	●	▲	●	●	●	●	●	
	SINGLE	○	○	○(3)	△	—	○	○	○	○	
オリジナル保存 p. 54		—	○(10)	—	—	—	—	—	—	—	
鏡像表示 p. 29		○	○	○	—	○	○	○	○	○	
撮影情報表示 p. 17, p. 29		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
グリッドライン p. 17, p. 29		○	○	○	○(21)	○	○	○	○	○	
ヒストグラム p. 17, p. 29		○(21)	○(21)	○(21)	○(21)	○(21)	○	○	○	○	
縦横自動回転 p. 79		●	●	●	●	—	●	●	●	●	





















○:設定可(●:初期設定が[入]) △:最初の1画像で設定可(▲:初期設定が[入]) —:設定不可

● :電源を切っても記憶します。

● [エリア設定]、[日付/時刻]、[言語]、[ビデオ出力方式]以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定を、一度にすべて初期設定に戻せません (p. 34)。

(1)  (動画)の記録画素数、フレームレートは下記のとおりです。

動画記録画素数 / フレームレート	640 × 480 画素 × 30 フレーム / 秒	●
	640 × 480 画素 × 15 フレーム / 秒	○
	320 × 240 画素 × 60 フレーム / 秒	○
	320 × 240 画素 × 30 フレーム / 秒	○
	320 × 240 画素 × 15 フレーム / 秒	○

- (2)  では設定できません。
- (3)  では設定できません。
- (4) ナイトスナップのみ[入]設定になります([切]設定はできません)。
- (5) [切]設定はできません。また 、 では[入]設定できません。
- (6) [切]設定はできません。
- (7) 、 では設定できません。
- (8)  では初期設定は[連続撮影]になります。
- (9) 、 は設定できません。
- (10) 、 のみ設定できます。
- (11) AEロック後、露出シフトできます。
- (12)  と  の切り換えのみできます。
- (13) カメラが自動的に設定します。
- (14)  の設定はできません。
- (15) 、 の設定はできません。
- (16) マイカラーが[セピア]、[白黒]のときは設定できません。
- (17) マニュアルの白データ取り込みはできません。
- (18) 、 で  は設定できません。
- (19)  で FE ロックは設定できません。
- (20) カスタムカラーは設定できません。
- (21) 設定はできますが、表示はできません。